

科目名	人体の構造及び機能		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	無し		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を確認する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>解剖生理学の基礎を学び習得する</li> <li>健康や美しさを維持するための基本知識を習得する</li> </ul>							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行わない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	人体の構造及び機能について簡単に説明することができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	小テスト備え、日々学習を継続することができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	導入 美しさと健康	座学の学習の進め方を学ぶ 解剖生理学について学ぶ 解剖生理学を学ぶことでどんな事が解決できるかを知る						
第2回	細胞	細胞とは何かを学ぶ						
第3回	組織・器官・系統	組織・器官・系統とは何かを学ぶ						
第4回	骨格系統	骨の名称と働き、関節の構造を学ぶ						
第5回	筋肉系統	筋肉の名称と場所、働きを学ぶ						
第6回	消化器系統	消化器の構造と働きを学ぶ				小テスト実施		
第7回	栄養素	3大栄養素、ビタミン、ミネラル 基礎代謝 カロリー						
第8回	呼吸器	呼吸器系について学ぶ ・腹式呼吸と胸式呼吸						
第9回	循環器 1	リンパについて学ぶ ・リンパとは何か ・リンパの流れ						
第10回	循環器 2	循環器について学ぶ ・血液の成分、働き、循環経路 ・静脈・動脈・毛細血管 ・血圧脈絡						
第11回	排泄器	排泄器について学ぶ 腎臓、尿管、尿の生成について学ぶ 腎臓の病気を学ぶ						
第12回	神経系 1	神経系の基本知識を学ぶ ・大脳と神経の伝導 ・自律神経について学ぶ				小テスト実施		
第13回	神経系 2	神経系の基本知識を学ぶ ・大脳と神経の伝導 ・自律神経について学ぶ						
第14回	内分泌 1	ホルモンについて学ぶ ・作用・分泌のコントロール・内分泌腺の種類						
第15回	内分泌 2	ホルモンについて学ぶ ・作用・分泌のコントロール・内分泌腺の種類				小テスト実施		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点以上、出席率80%以上 期末試験60%、小テスト3回10% 授業態度10%								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎		◎				60	秀(S):100点~90点
小テスト	◎		◎	○			30	優(A):89点~80点
授業態度				◎			10	良(B):79点~70点
								可(D):69点~60点
							評価なし	不可(E):59点以下
							評価なし	
							欠格条件	
担当教員	田澤 初美			実務経験紹介				

科目名	皮膚科学		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	皮膚およびその附属器官の構造、皮膚の循環系と血管の解剖と生理、皮膚と附属器官の一般的生理機能、皮膚と附属器官の保健ならびに疾病の概要等について学習する。							
授業の一般目標	美と健康に関わる皮膚の科学的な正しい知識と技術を習得し、これを活用し実践する能力を身につける 皮膚のトラブルの種類とその対処法を学び現場でお客様に的確にアドバイスすることができる知識を身に付ける							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行わない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	皮膚の構造・役割について説明ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	接客・施術現場をを想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	日常生活において皮膚科学に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	I 皮膚の概要(1)	①皮膚とは ②美しい肌の条件						
第2回	I 皮膚の構造(2)	②皮膚の表面 ③皮膚の断面						
第3回	I 皮膚の構造(1)	①表皮 ②表皮の役目						
第4回	I 皮膚の構造(2)	③真皮 ④真皮の役目						
第5回	I 皮膚の構造(3)	⑤皮下組織 ⑥皮下組織の役目						
第6回	II 皮膚附属器官の構造(1)	①汗腺 ②皮脂腺 ③毛 ④爪						
第7回	II 皮膚付属器官の構造(2)	①汗腺 ②皮脂腺 ③毛 ④爪 授業アンケート						
第8回	III 皮膚の循環系と神経系	①皮膚の血管 ②皮膚のリンパ管 ③皮膚の神経						
第9回	IV 皮膚と附属器官の生理機能(1)	皮膚の生理機能7つ						
第10回	IV 皮膚と附属器官の生理機能(2)	皮膚の生理機能7つ						
第11回	V 紫外線と肌への影響	紫外線と皮膚の影響						
第12回	VI 皮膚科学まとめ(2)	グループワーク						
第13回	VI 皮膚科学まとめ(3)	グループワーク						
第14回	前期学習まとめ	総復習						
第15回	期末試験	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上。 期末試験50%、授業態度・グループワーク20%、小テスト・中間試験30%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
期末試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト・中間テスト	◎	○					30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点~70点
授業態度			○	◎			15	可(D):69点~60点
発表・作品							5	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○	○			欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	化粧品化学		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	化粧品(化粧品)は、人の皮膚の保健・衛生および美容・美化を目的として用いられるものである。人間の美と健康に関わる職業人として、化粧品の科学的基礎知識を学ぶ。化粧品の安全性、原料や性状、使用目的を理解しお客様のニーズに合わせてご提案できるための知識を身に付ける							
授業の一般目標	(1)日本化粧品検定2級取得 (2)化粧品の中身や働きを理解し、目的に合った使い方が出来るようになる。 (3)化粧品の基礎知識を習得するとともに、ビューティの専門家として化粧品の選び方、メイク方法、美肌に導くプロフェッショナルを目指す。							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行わない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	日本化粧品検定2級・3級対策テキスト・問題集+YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1.化粧品の目的に合った使い方を説明できる。 2.化粧品の中身や働きを説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	接客・施術現場をを想定した各種場面において、目的に合った使い方が判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	日常生活において化粧品に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	オリエンテーション	授業・検定について・美容知識をチェック・メイクアップ・化粧品の使い方						
第2回	美容知識チェック	美容知識をチェック・メイクアップ・化粧品の使い方						
第3回	皮膚・肌について知ろう①	皮膚の構造・機能について						
第4回	皮膚・肌について知ろう②	皮膚の構造・機能について						
第5回	肌のお手入れと正しい知識①	肌タイプと見分け方・肌悩みの原因とお手入れ方法・小テスト						
第6回	肌のお手入れと正しい知識②	肌タイプと見分け方・肌悩みの原因とお手入れ方法						
第7回	美肌・美ボディ生活を送るには	化粧品と肌トラブル・肌悩みの原因とお手入れ方法について						
第8回	2級模擬試験	2級模擬試験						
第9回	化粧品化学①	化粧品の原料・界面活性剤について						
第10回	化粧品化学②	スキンケアアイテム・メイクアップの原料・成分について学ぶ						
第11回	化粧品化学③	ネイル・ヘアケア・ボディケアの基礎知識・原料・成分について						
第12回	化粧品化学④	オーラルケア・サプリメントの基礎知識・成分について						
第13回	化粧品にまつわるルール①	法律・広告やPR・化粧品を安全に使うために						
第14回	総復習・期末試験対策	総復習						
第15回	期末テスト	期末テスト実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)授業内で小テスト・模擬試験を行う (2)課題・レポートの提出をする (3)期末試験を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	秀(S):100点~90点
小テスト・模擬試験	◎	○					20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点~70点
授業態度			◎	○			10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○	○				欠格条件
担当教員					実務経験紹介			

科目名	色彩学		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	授業は座学を中心とする。理解を確認するために、適宜チェックテストを行い、知識を確実なものとするようにする。また、理解しやすいよう、適宜視覚教材を利用する。							
授業の一般目標	パーソナルカラー検定3級取得 色の持つ、文化的・感覚的な力を理解し、メイク・ネイル・ータルコーディネート等の実践に生かせる知識を習得する。							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行わない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	パーソナルカラー検定3級公式テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	色彩について学んだ事を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	メイク・ネイル・ータルコーディネートなど目的に合った色の使い方が判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	日常生活において色彩に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	色彩学とは	導入						
第2回	四季の自然を表わす色	春／夏／秋／冬に関わる色について						
第3回	日本の色の歴史	特徴的な伝統色						
第4回	色と生活	周りを取り巻く様々な色、衣食住						
第5回	色の種類	赤・橙・黄・緑・青・紫・白黒・グレー系統						
第6回	色の仕組み	物体色と光源色、無彩色と有彩色						
第7回	CUS表色系	カラーアンダートーンシステム						
第8回	色の三属性と対比現象	明度・彩度・色相						
第9回	色の感情効果	明度・彩度・色相に関する心理効果						
第10回	CUS配色効果	アンダートーンとは						
第11回	ファッション概論	基本的な配色テクニック						
第12回	ブライダルと色彩	ウエディングと配色調和						
第13回	パーソナルカラー	肌色のしくみ						
第14回	パーソナルカラーの特徴	人の特徴によるアンダートーン パーソナルカラー						
第15回	検定対策	パーソナルカラー3級検定試験対策						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)授業内で小テストを行う (2)課題・レポート提出をする (4)期末試験を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				10	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			15	良(B):79点～70点
授業態度			○	◎			5	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	ブライダル概論		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	現在の日本におけるブライダル事情の概要を学び、ブライダルとは何か？どんな意味・意義があるのか？そこで従事する人間としてのモラルなどを学ぶ。冠婚葬祭の一般常識を身に付け、サービスマナーなどを日常生活の中で活かせるように学習する。							
授業の一般目標	社会人としての一般常識として冠婚葬祭の知識を身に付け、人生の通過儀礼を滞りなく実行でき、業界で働くためのモラルを身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 冠婚葬祭とは何かについて説明できる。 2. ブライダル業界の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	社会人としての一般常識を理解した上で、接客サービス業に携わるサービスマナーを身に付け振舞うことができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダル業界に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	ブライダルとは	ブライダル概論の必要性について						
第2回	ドレスの種類	ドレスのラインを覚えよう						
第3回	結婚式の用語1	六輝、忌み言葉、通常使用される業界での用語						
第4回	結婚式の用語2	六輝、忌み言葉、通常使用される業界での用語						
第5回	ウェディングプランナーとは	プランナーの担う具体的な仕事						
第6回	ホテルウェディング	ホテルで行われるウェディングについて						
第7回	ゲストハウスウェディング	ゲストハウスとは？そのウェディングの特徴						
第8回	挙式の種類	挙式の様々なスタイル						
第9回	和装・和婚	和装の花嫁、和婚スタイルについて						
第10回	冠婚葬祭	冠婚葬祭について 日本文化に触れる						
第11回	冠婚葬祭のマナー	冠婚葬祭のマナー 水引・熨斗・祝儀袋						
第12回	結婚式のマナー	結婚式に招かれた時のマナーについて						
第13回	結婚式のマナー	結婚式における食事のマナー(折衷料理・和食・フランス料理・中華料理)						
第14回	業界人としての接客	各分野での新郎新婦様へのご対応について学ぶ						
第15回	期末試験	1から14までの回で学んだ内容から						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 ①授業内で小テストを行う ②課題・レポート提出をする ③期末試験を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○				70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				10	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点～70点
授業態度	○		◎	◎			10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	メイクアップ基礎(理論)		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	JMA検定教科書に沿い、メイクアップ理論・スキンケア理論の習得							
授業の一般目標	日本メイクアップ知識検定ベーシック 取得 皮膚科学理論及びスキンケア理論、色彩理論、メイクアップベーシック知識の習得。							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行なわない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクアップ技術検定試験JMA公式テキスト 3級・2級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	メイクアップ・スキンケアの基礎について説明ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	接客・施術現場をを想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	オリエンテーション	授業のルールについて・授業の目標 検定試験について						
第2週	顔のパーツの名称・メイクアップツール	基本のパーツバランス、メイクアップツールの使い方について						
第3週	顔分析・肌分析	自分の顔を知る・肌を知る						
第4週	スキンケアの基本	スキンケア理論・それぞれの役割、種類						
第5週	メイクアップ基礎理論	メイクアップの効果・色彩						
第6週	ベースメイク理論	ベースメイクのそれぞれの役割・種類						
第7週	ポイントメイク理論①	アイブロウ・アイシャドウ・アイライン・マスカラの基礎知識						
第8週	ポイントメイク理論②	ハイライト・ローライト、チーク・リップの基礎知識						
第9週	修整メイクアップ①	顔型・顔バランスの修整						
第10週	修整メイクアップ②	目元・眉・口元の修整						
第11週	検定対策	総復習						
第12週	検定対策	模擬試験						
第13週	日本メイクアップ知識検定ベーシック試験	日本メイクアップ知識検定ベーシック試験						
第14週	期末試験対策	期末試験のポイント・復習						
第15週	期末試験	期末試験実施(実技・筆記)						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 日本メイクアップ技術検定3級取得を卒業要件とする (1)授業内で小テストを行う (2)課題・レポート提出をする (4)期末試験を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	◎				70	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				10	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							10	良(B):79点~70点
授業態度	◎	○	◎	◎			10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	アロマテラピー基礎		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	授業は座学を中心とする。 理解を確認するために、適宜チェックテストを行い、知識を確かなものとするようにする。 また、理解しやすいよう、適宜視覚教材を利用する。							
授業の一般目標	身体への生理作用を理解し、実践に役立つ知識を習得する。 アロマテラピー検定1級取得を目指す。							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行わない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	アロマテラピー検定公式テキスト2級1級 問題集							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	アロマテラピーについて学んだ事を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	目的に合った精油の使い方が判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	日常生活において精油に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	アロマテラピーのある暮らし アロマテラピーとは 香りを楽しむ	AEAJについて・授業目標・アロマテラピーについて・香りのイメージレッスン(精油キット) クラフト作成 バスソルト						
第2週	精油の基礎知識 精油のプロフィール	精油とは・芳香物質(定義・性質・役割) 精油の抽出法 安全のための注意 ゼラニウム・クラリセージ						
第3週	精油の基礎知識 精油のプロフィール	基材について 利用法: 芳香浴法・木浴法・吸入法・湿布法 ジュニパーベリー・ティートリー・オレンジスイート・ユーカリ						
第4週	アロマテラピーのメカニズム 健康学 精油のプロフィール	精油が心身に伝わる仕組み・精油の作用 BEAUTY&HEALTHCARE(睡眠・ストレス・ホルモン他) パチュリ・ペチパー・メリッサ・ブラックペッパー						
第5週	アロマテラピーの歴史 精油のプロフィール	古代 ローズAb・ローズオットー・ジャスミン・ベンゾイン						
第6週	アロマテラピーの歴史 精油のプロフィール	中世～近世～近代 ペパーミント・ブルーブルーツ・フランキンセンス・レモングラス						
第7週	アロマテラピーの歴史 精油のプロフィール	現代 サンダルウッド・ミルラ・サイプレス・ネロリ						
第8週	アロマテラピーと環境 精油のプロフィール	植物とともに生きてきた私たちの歴史 いま、地球が抱える難題 一人ひとりができることから ハーブについて ローズマリー・ベルガモット・スイートマージョラム・イランイラン						
第9週	精油のプロフィール クラフト	ラベンダー・レモン・ローマンカモミール・ジャーマンカモミール 化粧水						
第10週	アロマテラピーに関係する法律 クラフト	アロマテラピーの法律問題 トリートメントオイル・ハンドマッサージ						
第11週	アロマテラピーの楽しみ方 健康学 クラフト	ホームケア&アドバイス 栄養と運動 ライフステージとアロマテラピー ハーブティー						
第12週	アロマテラピーと健康学 クラフト	症状別の利用法 クレイパック						
第13週	アロマテラピーと健康学 クラフト	症状別の利用法 バスソルト						
第14週	アロマテラピーのまとめ 総復習	検定試験対策・模擬試験						
第15週	期末試験	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 アロマテラピー検定2級を卒業要件とする(2024年5月受験予定) (1)授業内で小テストを行う (2)課題・レポート提出をする (3)期末試験を実施する(期末試験期間) 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点～70点
授業態度			○				10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介							

科目名	ネイル基礎		単位数	4	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネイル基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート 検定3級対策							
授業の一般目標	ベーシックなネイルの技能と知識の基礎を習得 JNECネイリスト技能検定3級受験							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JNAテクニカルシステム(ベーシック)							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	爪の構造及び機能について学んだ事を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点								
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	日常生活においてネイルに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	ネイルケア・カラーリング・アート(3級検定課題)ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	初回授業説明 理論	教材配布・検品・テーブルセッティング ネイル概論						
第2回	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論						
第3回	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論						
第4回	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論						
第5回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論						
第6回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ 小テスト						
第7回	ネイルケア基礎	ネイルアート・3級筆記対策						
第8回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論						
第9回	ネイルケア基礎	ネイルアート						
第10回	検定対策	3級対策						
第11回	検定対策	3級対策・模擬検定						
第12回	検定対策	3級対策・合同模擬検定						
第13回	ネイルケア	3級対策						
第14回	ネイルケア	ネイルアート						
第15回	ネイルケア	期末テスト						
成績評価方法								
期末試験得点50%+小テスト模擬テスト課題40%+検定合格10% ネイル検定3級取得を卒業要件とする (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テスト・模擬テストを実施する (3)課題・作品の提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		40	秀(S):100点~90点
小テスト	◎		○		○		20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート			○				10	良(B):79点~70点
授業態度				◎			30	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員					実務経験紹介			



科目名	メイクアップ基礎(実習)		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	JMA検定教科書に沿い、お客様にとって心地よいメイクの施し方を学習する。 メイクの技術の他に、道具の扱い方・身だしなみ・声かけ等も習得し、メイクアップの楽しさを学ぶ。							
授業の一般目標	JMA3級取得 スキンケアからベースメイクのテクニックの習得							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行なわない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクアップ技術検定試験JMA公式テキスト 3級・2級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	顔のゴールデンバランスについて説明ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	モデルのパーツバランスを分析し、メイクプランを考えることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	日常生活においてメイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	1 ポイントクレンジング～ベースメイクが30分でできる。2、基本バランス合わせたリクルートメイクができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	オリエンテーション・化粧品の説明	授業のルールについて・化粧品検品・検定概要について						
第2週	セッティング・ポイントクレンジング	セッティング・ポイントクレンジング						
第3週	全体クレンジング・化粧水・プライマー	ポイントクレンジング復習・全体クレンジング、化粧水・プライマーの手法						
第4週	ベースメイク実習1	コントローラー・ファンデーションテクニック						
第5週	ベースメイク実習2	コンシーラー・フェイスパウダーテクニック						
第6週	チーク・ローライト・ハイライト	チーク・ローライト・ハイライト実習						
第7週	タイム計測・チークのバリエーション	ポイントクレンジング～ベースメイクタイム計測・チークのバリエーションについて						
第8週	タイム計測・アイシャドウ基礎	ポイントクレンジング～ベースメイクタイム計測・アイシャドウ実習						
第9週	タイム計測・リップ基礎	ポイントクレンジング～ベースメイクタイム計測・リップ実習						
第10週	JMA3級試験	JMA3級試験実施						
第11週	フルメイク実習①	宝塚メイク実習						
第12週	フルメイク実習②	リクルートメイク実習						
第13週	フルメイク実習③	トレンドメイク実習						
第14週	期末試験対策	期末試験のポイント・復習						
第15週	期末試験	期末試験実施(実技・筆記)						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 日本メイクアップ技術検定3級取得を卒業要件とする (1)授業内で小テストを行う (2)課題・レポート提出をする (4)期末試験を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎		○		10	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○	◎			20	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	ヘアアレンジ基礎		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ウィッグ使用の実技中心となる。 ヘアアレンジの技術の他に、道具の扱い方を習得する。またTPOに合わせた身だしなみを整えるためのヘアセットができるようになる							
授業の一般目標	就職活動～卒業後の現場でのセルフヘアセット技術の習得。 イベントや実技試験で必要となるアレンジ技術の習得を目指す。 モデルやウィッグにオリジナルのヘアアレンジができる							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行なわない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YICオリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	道具の扱い方について説明することができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	髪の長さ、毛量に応じてヘアセット方法を判断することができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	日常生活においてヘアアレンジに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	1セルフ及びウィッグで夜会巻きができる 2 編み込みを取り入れたオリジナルのヘアアレンジができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	基礎知識	道具類の配布 道具類の種類と使用法・頭部の名称・黒ゴムの前準備						
第2回	身だしなみの為のアップスタイル	自分で出来るアップスタイル						
第3回	身だしなみの為のアップスタイル	自分で出来るアップスタイル・夜会巻						
第4回	基礎技術 (基礎1)	基礎技術を修得する						
第5回	基礎技術 (基礎2)	ブラッシング・ピンニング・ホットカーラーの巻き方 毛髪調整(スタイリング剤の使い方)						
第6回	基礎技術 (基礎3)	各種タポの作り方・根止め(土台)の作り方 ゴムの結び方・逆毛(バックコーミング)の技法						
第7回	基礎技術 (基礎4 一束)	一束にまとめる(・すき毛あり・すき毛なし等)						
第8回	基礎技術 (基礎5 サイド)	サイドのまとめ方(・ひねり上げ・ねじり上げ等)						
第9回	基礎技術 (基礎5 フロント)	フロントのまとめ方(・ボンパドール・各パート分け等)						
第10回	編み込み 基礎技術 根元からしっかり編む基本法	基本の毛束の持ち方と指使いを修得 ・表編み・裏編み・ロープ編み・フィッシュボーン ・四つ編み						
第11回	編み込み 基礎技術 基本技法で編み込む	各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく 片側表三つ編み込み・両側表編み込み						
第12回	編み込み 基礎技術 基本技法で編み込む	各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく 片側裏三つ編み込み・両側裏編み込み						
第13回	アップスタイルの作製	編み込みのアップスタイルの作製						
第14回	期末試験対策	期末試験対策						
第15回	期末テスト	実技テスト・筆記テスト						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)授業内で小テストを行う (2)作品・課題・レポート提出をする (3)期末試験を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○			◎		50	秀(S):100点～90点
小テスト					◎		20	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			◎	◎	◎		30	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員				実務経験紹介				

科目名	着付け	単位数	2	科目コード				
授業形態	実習	対象学生	2年生	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験対象	-			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	着付を通して、和の心に親しみ、'正しい姿勢とご挨拶' '美しい所作を生む和服の着こなし' 'たおやかな立ち居振る舞いと心得' 大人の女性として恥ずかしくない礼儀や作法を身につける。又 着物の取り扱いについても学ぶ							
授業の一般目標	日本伝統衣装とふれあい、正しい姿勢や所作、着物の取り扱いを学びながら、着付け技術の基本ができるようになる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	着物の名称・取り扱い・たたみ方について説明ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	モデルの体型に応じてタオル補正方法を判断することができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	日常生活において着付けに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	モデルに振袖を着付けることができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容			備考			
第1週	浴衣の着付	浴衣着付け・着方						
第2週	小紋着付	・補整の仕方 ・長襦袢の着付 ・小紋の着付 ・長襦袢と着物のたたみ方						
第3週	小紋着付	・小紋着付・着物・帯・襦袢の畳み方						
第4週	留袖着付 二重太鼓	・留袖技術の習得、基礎 ・二重太鼓						
第5週	振袖着付	・振袖技術の習得、二重太鼓						
第6週	振袖着付	・振袖技術の習得、二重太鼓						
第7週	振袖着付	・振袖技術の習得、二重太鼓						
第8週	振袖着付	・振袖着付け						
第9週	振り袖着付	・振袖技術・帯結び						
第10週	振り袖着付	・振袖技術・帯結び						
第11週	振り袖着付	・振袖技術・帯結び						
第12週	振り袖着付	・振袖技術・帯結び						
第13週	振り袖着付	・振袖技術・帯結び						
第14週	着付試験	・振袖技術・帯結び						
第15週	袴着付	・女袴着付						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		◎	◎		◎		90	秀(S):100点~90点
小テスト							評価なし	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点~70点
授業態度	◎	◎	○	◎			5	可(D):69点~60点
発表・作品			◎	◎	◎		5	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	メイクセラピー基礎		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義/実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学、実技の授業 テキストの他、学習プリントで検定試験の出題ポイントを習得する メイクセラピーの知識と技術を習得する							
授業の一般目標	メイクセラピー検定3級合格 メイクによる心理的効果を学び、メイクが外的・内的の向上に役立つことを理解する メイクテクニックを習得し、オーダーに伴った印象にセルフメイク(印象管理)が出来るようになる。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクセラピー検定3級対策テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	メイクセラピーの目的・役割・流れについて説明ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	日常生活の中でメイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	セルフメイクでキャリア系・癒し系メイクができるようになる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	メイクセラピーとは	オリエンテーション メイクセラピーの目的・役割を理解する						
第2回	メイクセラピーの手法	メイクセラピーのカウンセリングの必要性						
第3回	顔と心と化粧の関係	表情・感情・化粧をする理由						
第4回	スキンケア概論	肌タイプ、表情筋、スキンケアについて						
第5回	カウンセリング概論	カウンセリングの意義や基本テクニックについて 小テスト						
第6回	カウンセリング実習	傾聴スキルを用いたカウンセリング実習						
第7回	メイクアップ概論	パーツバランス、印象について・授業アンケート						
第8回	メイクアップ概論②	色彩、コスメティックの質感について						
第9回	セルフメイク実習①	セルフメイク基礎(ポイントメイク)						
第10回	セルフメイク実習②	印象に伴うメイク(キャリア系・癒し系メイク)						
第11回	3級対策	3級試験対策、小テスト						
第12回	3級試験対策(模擬テスト)	3級対策(過去問)						
第13回	メイクセラピー検定3級試験	メイクセラピー検定3級試験実施						
第14回	期末試験対策	1～13の復習						
第15回	期末試験	筆記試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、小テスト15%、提出物&授業態度点15%、を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				15	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○	◎	○		15	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/</a>			

科目名	エステ基礎		単位数	3	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	授業は実技を中心とする。 上達を確認するために、適宜チェックテストを行い、テクニックを確実なものとするようにする。							
授業の一般目標	人体の構造及び機能で学んだ知識を活かし、施術をし、モデルのボディバランスの変化を知ることによって施術する喜びを感じる。 人に触れる施術を行うことで、接客する上で心遣い、気配り、相手を思いやる気持ちを育む。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学、マッサージに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	導入 肌に触れるという事	エステティックとは ホットタオルの作り方・ワゴンセット・ベッドセット ・ターバンの巻き方・タオルセットの方法を学ぶ						
第2週	オイル塗布、軽擦を学ぶ	マッサージの種類を学ぶ ハンドマッサージ						
第3週	ヒップアップの手技、指圧を学ぶ	オイル塗布・軽擦 (圧を抜く・密着する・姿勢に気をつける) バイブレーション・プレシオン(指圧)						
第4週	足裏のマッサージを学ぶ 強擦法 切打法を学ぶ	かかとの強擦・足の裏の切打・足の裏の圧迫				確認テスト		
第5週	足裏のマッサージを学ぶ 足裏の血行促進方法を学ぶ	足の裏8の字・足の裏のプレシオン・足の裏の指圧						
第6週	ふくらはぎのマッサージを学ぶ タッピング法を習得する	腓腹筋のマッサージ ①腓腹筋のマッサージ ②タッピング						
第7週	ふくらはぎのマッサージを学ぶ 足首ストレッチ法を習得する	内分泌のツボ・足首のストレッチ・足のストレッチ						
第8週	マッサージ後の効果検証	オイル塗布から足のストレッチまで通し(左右の脚で実践) 疑問点・苦手部分を確認する						
第9週	脱毛学 水溶性WAXによる脱毛処理を学ぶ	毛の構造、ヘアサイクルを理解する 水溶性WAXの使用方法、注意点を学ぶ				確認テスト		
第10週	セルライトにアプローチする マッサージを学ぶ ペトリサージュを習得する	ペトリサージュ (体の移動・密着を習得する)						
第11週	ふくらはぎの血行を促進する マッサージを学ぶ 1 切打法を習得する	切打 (体の動き・手の動きを習得する)						
第12週	ふくらはぎの血行を促進する マッサージを学ぶ 2 拍打法を習得する	拍打 (手の動きを習得する)						
第13週	マッサージ後の沈静方法を学ぶ 擦り上げを習得する	擦り上げ (手の動き・手の圧・密着を習得する)						
第14週	フットマッサージ全工程 復習 1	下肢背面 通し確認(左右の脚で実施) 疑問点・苦手部分の克服 下肢背面 通し計測 ペアで確認しあいアドバイスをして手技を習得する				確認テスト		
第15週	フットマッサージ全工程 復習 2	期末テスト詳細連絡 下肢背面 通し計測						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、確認テスト3回 30%、授業態度・提出物それぞれ5%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		60	秀(S):100点~90点
確認テスト	◎	○	◎		◎		30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート			◎	◎			5	良(B):79点~70点
授業態度			○	○			5	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	田澤 初美			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>			

科目名	ビジネスと仕事の実践		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	授業は座学・発表を中心とする。 社会人基礎力・セルフマネジメント力の向上を図るとともに、経営、マネジメントの視点を持つことで即戦力となる人材を目指す							
授業の一般目標	社会人としての基礎知識を学ぶとともに、セルフマネジメント力の向上を図る。経営、マネジメントの視点を持つことで社会人になる自覚を持つとともにビジネス感覚を養う							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ビジネスに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でビジネスについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	個人サロンを創造し、プロモーションができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業について・働く意義・仕事と職業の違いについて						
第2回	お金と仕事①	給与の役割・福利厚生とは						
第3回	お金と仕事②	税金・社会保険について基礎知識 小テスト						
第4回	社会人としての常識とマナー	社会人1年目までに備えるべき常識とマナー						
第5回	電話対応	電話を受ける・電話をかける						
第6回	クレーム対応基礎知識	クレーム対応について						
第7回	クレーム対応応用	クレーム対応について 小テスト						
第8回	ストレスについて	ストレスとストレスコーピング						
第9回	プレゼンテーションとは	プレゼンテーション基礎・説得力のある伝え方						
第10回	経営とは	ビジネス・経営について・PDCAサイクル						
第11回	マーケティング	マーケティングの基本的な考え方						
第12回	サロン起業1	繁盛店(個人サロン)を考えてみよう・事業計画書						
第13回	サロン起業2	繁盛店(個人サロン)を考えてみよう・DM作成						
第14回	プレゼンテーション実践	個人サロンをプレゼンテーション						
第15回	期末試験	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点以上、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)課題・レポートを作成し提出する (3)授業内で小テストを行う (4)授業内で発表を行う 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%以下のものには単位を与えない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	◎				60	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				10	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							5	良(B):79点~70点
授業態度			○	○			10	可(D):69点~60点
発表・作品					◎		15	不可(E):59点以下
演習								
出席			○					欠格条件
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/</a>			

科目名	サービス接遇		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	美容業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める。							
授業の一般目標	サービス接遇3級取得。 社会人基礎力の向上を目指し、就職活動や業界で働くための基本的なマナーを身につける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	サービス接遇検定3級公式テキスト・サービス接遇検定3級実問題集							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業の進め方の説明と検定要項の確認						
第2回	サービススタッフの資質Ⅰ	必要とされる要件、従業要件を備えており判断、表現ができる						
第3回	専門知識Ⅰ	サービスの意義、機能、種類を理解する 商業用語、経済用語が理解できる						
第4回	一般知識Ⅰ	社会常識、時事問題が理解できる						
第5回	対人技能Ⅰ	一般的な人間関係や対人心理、マナーが理解できる						
第6回	対人技能Ⅱ	接遇用語を理解し基本的な話し方ができる 提示説明の仕方が理解できる						
第7回	実務技能Ⅰ	問題処理、環境整備、金品管理について理解できる						
第8回	敬語	丁寧語/謙譲語/尊敬語						
第9回	対人技能	挨拶言葉とお辞儀実習 [基本の挨拶言葉/お辞儀]						
第10回	対人技能	話し方・TPOに合わせた服装						
第11回	専門知識Ⅱ	サービスの種類、応対例						
第12回	対人技能Ⅱ	接遇用語を理解し基本的な話し方ができる						
第13回	実務技能Ⅱ	接客実習(お会計対応)						
第14回	期末試験対策	1～13回の復習						
第15回	期末試験の実施	期末試験の実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上※サービス接遇検定3級を卒業要件とする (1)授業内で適宜小テストを行う (2)課題提出をする (3)期末試験を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	◎	◎				10	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート	○	○	○				10	良(B):79点～70点
授業態度				○		○	10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員				実務経験紹介				

科目名	メイクアップ1(理論)		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学中心の授業 メイクアップ、スキンケア、化粧品、皮膚、顔分析、メイクアップの修整方法などのメイクアップ知識の習得							
授業の一般目標	(1)日本メイクアップ知識検定アドバンス取得 (2)メイクアップ、スキンケア、化粧品、皮膚、顔分析、メイクアップの修整方法などのメイクアップ知識が説明できる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	日本メイクアップ知識検定アドバンス公式テキスト・問題集							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、問題意識を高める事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考える事ができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業に関するルール・検定について・復習(確認テスト)						
第2回	顔の成り立ち①	骨格・筋肉・皮膚、皮膚の生理作用						
第3回	顔の成り立ち②	スキントイプ・季節と肌 紫外線と肌						
第4回	化粧品学	化粧品の定義						
第5回	顔バランスと印象①	顔のバランス、肌色の印象						
第6回	顔バランスと印象②	印象の分類						
第7回	メイクアップ理論Ⅰ①	メイクアップの効果 色彩とメイクアップ						
第8回	メイクアップ理論Ⅰ②	メイクアップの質感・形とイメージ・錯視効果						
第9回	メイクアップのテクニック	ベースメイク・ポイントメイク・メイクカラーの混色						
第10回	メイクアップのイメージ理論	メイクアップの強弱とイメージのポイント						
第11回	顔分析と修整メイク	メイクアップのバランス調整・加齢による顔の変化とメイクアップ						
第12回	メイクアップ理論Ⅱ	光源とメイクアップ 男性の肌 アイラッシュ						
第13回	模擬試験	総復習 模擬試験						
第14回	日本メイクアップ知識検定アドバンス試験	日本メイクアップ知識検定アドバンス試験実施						
第15回	期末試験	筆記試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを数回実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎		◎		20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点~70点
授業態度			○	○			10	可(D):69点~60点
発表・作品					○		評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/</a>			



科目名	メイクアップ1(実習)		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・実技中心の授業(講師デモンストレーション・学生実習) メイクアップの基礎知識・ベーシック～応用技術・アイテムの知識・人間性・マナー・感性を土台に、能力の向上を目指す。JMA検定を学びながら、基本に忠実な本物の技術、顧客や社会のために誠実な思いを持って提供し喜びをもたらす職業としてメイクアップに携わることの尊さや誇り、美しさを志向します。							
授業の一般目標	(1)日本メイクアップ技術検定2級取得。 (2)モデルの顔分析をし、基本のバランスにフルメイクができるようになる (3)メイクアイテムを正しく理解し、用途に応じて使い分けができる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	日本メイクアップ技術検定試験3級・2級公式テキスト・VICオリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	1. モデルの骨格に合わせた基本バランスにフルメイクができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	オリエンテーション・復習・手技確認	授業に関するルール・JMA2級検定について 手技確認						
第2回	顔分析・ベースメイク	顔分析・ベースメイク・実技						
第3回	スキンケア実習	スキンケア・マッサージ ベースメイク応用						
第4回	ポイントメイク実習①	スキンケア～ベースメイク復習 アイブロウ実習						
第5回	ポイントメイク実習②	アイブロウ応用・アイメイク実習						
第6回	ポイントメイク実習③	目元応用 リップ チーク						
第7回	修整メイクアップ・2級通し	2級通しタイム計測・苦手箇所練習						
第8回	2級試験対策	2級通し タイム計測						
第9回	模擬試験	JMA2級模擬試験実施						
第10回	日本メイクアップ技術検定2級試験	JMA2級検定試験						
第11回	イメージメイク理論	イメージメイクカラーージュ						
第12回	イメージメイク 顔分析	顔分析・キュートORフレッシュメイク						
第13回	イメージメイク	顔分析・クールORエレガントメイク						
第14回	期末試験対策	顔分析をしモデルに合ったイメージにメイクをする						
第15回	期末試験	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを数回実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎		◎		20	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○	○			10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経歴紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/</a>			

科目名	メイクアップⅡ		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学、講師デモンストレーション、相モデルを取り入れた実習を中心とする。技術力・接客力・知識力を高め、メイクアップの修整、イメージ応用まで習得する。お客様にわかりやすく伝える表現力やアドバイスを習得する。							
授業の一般目標	日本メイクアップ技術検定1級取得 イメージメイクとカウンセリングトークを深く理解し、モデルの要望に合わせたメイクとアドバイスができるようになる。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	日本メイクアップ技術検定試験1級公式テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	イメージメイク4パターンを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を論理的に伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	1モデルの要望(イメージ)に合わせたフルメイクで30分で仕上げることができる 2カウンセリング、モデルに合ったメイクのアドバイスができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	オリエンテーション	JMA1級・アドバンス検定の内容について・カウンセリング法とアドバイス法						
第2週	キュートメイク基礎	キュートメイク理論 カウンセリングメイク						
第3週	キュートメイク応用	キュートメイクを利用した似合わせメイク・エイジングメイクと修整・スキンケアアドバイスメイク						
第4週	エレガント基礎	エレガントメイク理論 カウンセリングメイク						
第5週	エレガント応用	エレガントメイクを利用した似合わせメイク・エイジングメイクと修整・スキンケアアドバイスメイク						
第6週	フレッシュ基礎	フレッシュメイク理論 カウンセリングメイク						
第7週	フレッシュ応用	フレッシュメイクを利用した似合わせメイク・エイジングメイクと修整・スキンケアアドバイスメイク						
第8週	クール基礎	クールメイク理論 カウンセリングメイク						
第9週	クール応用	クールメイクを利用した似合わせメイク・エイジングメイクと修整・スキンケアアドバイスメイク						
第10週	イメージメイク「キュート・エレガント」	相モデルで2パターンの似合わせメイクとアドバイスメイク						
第11週	合同授業	プランナーメイクとアドバイス						
第12週	1級試験対策	プランナーメイク 1級通し 苦手箇所練習						
第13週	模擬試験	模擬試験						
第14週	期末試験	期末試験 実技テスト						
第15週	JMA1級試験	JMA1級試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	◎		◎		60	秀(S):100点~90点
小テスト					◎		10	優(A):89点~80点
提出物							10	良(B):79点~70点
授業態度			○	○			20	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	イメージメイク基礎		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	実技中心の授業(講師のデモスト、学生が実技を行う) メイクカルテを活用し、理解力を深める 実技チェックテストを行い、テクニックの習得状況を確認し、実技を確実に習得する。							
授業の一般目標	メイク基礎で学んだ知識を活かし、技術を行う事でメイク表現の違いを知る。 メイクの楽しさを他者に伝えることのできるテクニック、表現方法を学ぶ。 様々なメイク表現を習得し、現場で活かせる技法を身に付ける。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	MAKEUP SKILLS TEXTBOOK BASIC							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	イメージに合わせてメイクができるようになる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	メイクテクニック技術確認	フルメイク技術チェック・デモンストレーション						
第2週	基本テクニック (ベース)	ファンデーション・ブロンザーテクニック						
第3週	基本テクニック (アイブロウ)	基本テクニック・似合わせメイク						
第4週	基本テクニック (アイシャドウ)	マット・パールグラデーション						
第5週	ハロウィンメイク	赤×黒 紫×グレーのグラデーションテクニック						
第6週	基本テクニック (チーク・リップ)	基本テクニック キュート・エレガント・クール・ボーイッシュの説明						
第7週	イメージメイク実践 キュート	キュートメイクのテクニックを習得しモデルの骨格にあったキュートメイクができる						
第8週	イメージメイク実践 エレガント	エレガントメイクのテクニックを習得しモデルの骨格にあったエレガントメイクができる						
第9週	イメージメイク実践 ボーイッシュ	ボーイッシュメイクのテクニックを習得しモデルの骨格にあったボーイッシュメイクができる						
第10週	イメージメイク実践 クール	クールメイクのテクニックを習得しモデルの骨格にあったクールメイクができる						
第11週	コンテスト応募用作品作り	イメージ収集、チェック、メイク実践						
第12週	コンテスト応募用作品作り	イメージ収集、チェック、メイク実践						
第13週	コンテスト応募用作品作り	イメージ収集、チェック、メイク実践						
第14週	コンテスト応募用作品作り	最終確認・エントリー						
第15週	期末試験	実技試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを数回実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないもには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎		◎		30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員					実務経験紹介			

科目名	ブライダルメイク		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	即戦力として活用できるブライダルメイクヘアを学ぶ。							
授業の一般目標	ブライダルにおけるヘア・メイク・衣装などの知識や技術を習得する。 成人式・卒業式・結婚式に合わせたヘアメイクができる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダルヘアメイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルヘアメイクについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	衣装・場面に合わせてヘアメイクができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	トータル・ヘアメイク	技術チェック。相モデルで骨格やパーツなどの補正						
第2週	トータル・ヘアメイク	相モデル30分フルメイク カウンセリングとアップスタイル2パターン						
第3週	トータル・ヘアメイク	相モデル30分フルメイク 和装と洋装のメイクの違い						
第4週	トータル・ヘアメイク	相モデルで、前回とは違うペアーで、オーダー通りにヘアメイクを仕上げる						
第5週	トータル・ヘアメイク	相モデルで、前回とは違うペアーで和装のオーダー通りにヘアメイクを仕上げる アテンドの知識						
第6週	トータル・ヘアメイク	洋装から和装へのヘアチェンジの作り方・考え方						
第7週	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクのクイックチェンジを行う						
第8週	トータル・ヘアメイク	和装から洋装へのヘアチェンジの作り方・考え方						
第9週	トータル・ヘアメイク	相モデルで、和装→洋装のヘアメイクのクイックチェンジを行う						
第10週	トータル・ヘアメイク	卒業式、成人式、結婚式衣装やヘアメイクの違い						
第11週	トータル・ヘアメイク	ドレスフィッティングのやり方、衣装合わせについて						
第12週	トータル・ヘアメイク	期末試験課題での衣装選び、ヘアメイク決定						
第13週	トータル・ヘアメイク	期末試験課題で作るヘアメイク練習						
第14週	トータル・ヘアメイク	作品制作						
第15週	トータル・ヘアメイク	期末試験・作品制作						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)授業内で課題・作品の提出を行う (2)期末試験を実施する (3)作品の仕上がり、準備姿勢、出席点を換算して総合評価を行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		◎		◎	◎		50	S(4):90点以上
小テスト							評価なし	A(3):80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	B(2):70点以上
授業態度			◎	◎	◎		30	C(1):60点以上
発表・作品			○	○	○		20	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員					実務経験紹介			

科目名	撮影メイク	単位数	4	科目コード				
授業形態	実習	対象学生	2年	開設期	半期			
区分	選択必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	-			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	実技中心の授業(講師のデモスト、学生が実技を行う) メイクカルテを活用し、理解力を深める 実技チェックテストを行い、テクニックの習得状況を確認し、実技を確実に習得する。							
授業の一般目標	フォトコンテストのテーマに合わせたメイクを創造することができる イメージメイクで学んだ知識を活かし、技術を行う事でメイク表現の違いを知る。 メイクの楽しさを他者に伝えることのできる応用テクニック、表現方法を学ぶ。 様々なヘア・メイク表現を習得し、現場で活かせる応用技法を身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明することができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	コンテストのテーマに合わせてメイクを創造し、表現することができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	メイクテクニック技術確認	フルメイク技術チェック・1930年代メイク						
第2週	年代別メイク	1950年代メイク						
第3週	年代別メイク	1960年代メイク						
第4週	年代別メイク	1980年代メイク						
第5週	撮影(中間テスト)	テーマに合わせたヘアメイク・写真撮影						
第6週	イメージメイク実践 エレガント	エレガントメイクの応用テクニックを習得しモデルの骨格にあったエレガントメイクができる						
第7週	イメージメイク実践 ボーイッシュ	ボーイッシュメイクの応用テクニックを習得しモデルの骨格にあったボーイッシュメイクができる						
第8週	イメージメイク実践 クール	クールメイクの応用テクニックを習得しモデルの骨格にあったボーイッシュ・クールメイクができる						
第9週	ファンタジーメイク	ファンタジーメイク考案、デッサン						
第10週	ファンタジーメイク	幻想的なメイクができるようになる						
第11週	コンテスト応募用作品作り	イメージメイク応用の実践(テスト)						
第12週	コンテスト応募用作品作り	スキンケアとイメージマトリクス別ファンデーション実習						
第13週	コンテスト応募用作品作り	ゴールデンバランスに基づくパーツメイク実習						
第14週	コンテスト応募用作品作り	撮影最終チェック・エントリーシート作成						
第15週	撮影(コンテスト応募用)	テーマに合わせたヘアメイク・写真撮影						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 ①授業内で実技テストを行う ②授業内で作品を創造し、提出する ③準備姿勢、作品制作に取り組む姿勢、授業態度、出席点を換算した総合評価 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものは単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
実技テスト	◎	◎		◎	◎		20	秀(S):100点~90点
作品	◎	◎	◎		◎		30	優(A):89点~80点
授業態度			◎	◎			50	良(B):79点~70点
出席							欠格条件	可(D):69点~60点
								不可(E):59点以下
担当教員				実務経験紹介				

科目名	コスメティック販売実習		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	百貨店研修・メーカー研修での学習内容をいち早く習得し、即戦力となる人材育成、ビューティーのプロを目指します。							
授業の一般目標	店頭での、カウンター業務・接客の習得する。 お客様の肌悩みに応じたアドバイスと商品の提案ができるようになる。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要のため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を論理的に伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で販売やメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	お客様の肌悩みに合わせた説明とアドバイスができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	オリエンテーション ビューティアドバイザーに求められる条件	自己紹介 授業内容確認 身だしなみ 店頭活動 百貨店模擬研修						
第2週	アプローチ～接客までの流れ	購買心理/「褒める」「ネガポジ」コミュニケーション 金銭授受/お見送り						
第3週	カウンター業務	割引・レジ計算問題/ハンドアウト/詫び状※特別講和						
第4週	ニーズの把握(スキンケア)	ニーズの把握を知る 皮膚知識 トーク						
第5週	ニーズの把握(メイクアップ) メーカー研究	提案の流れを知る ブランド毎の強みの把握						
第6週	百貨店見学	百貨店見学 各メーカーでタッチアップを受けレポート作成 ※私服登校						
第7週	メイクカウンセリング・タッチアップ実習	肌悩みをカウンセリングし、似合うベースメイクの提案 ベースメイクタッチアップメイク実習						
第8週	タッチアップ実習	アイメイク・リップのご提案・タッチアップ実習				小テスト		
第9週	肌診断	肌診断～スキンケアアドバイス						
第10週	お出迎え～フルメイク	ロープレ メイク実習						
第11週	プレゼンテーション大会	メーカー化粧品プレゼンテーション						
第12週	合同授業	メイクレッスン受講						
第13週	アンチエイジングについて	アンチエイジングの原因と対策と提案 各ブランドのアンチエイジングライン						
第14週	サロン実習	サロン運営プレオープン参加						
第15週	期末試験	お客様の悩みに対応できる知識と接客技術						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テスト・発表を実施する (3)授業内で課題を出題しレポートの提出をする 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものは単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		50	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				20	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点～70点
授業態度			○				10	可(D):69点～60点
発表・作品					◎		10	不可(E):59点以下
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員					実務経験紹介			

科目名	接客マナー実習(基礎)		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義/実習		対象学生	1年	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	美しい所作を身に付けると同時に、社会人基礎力の向上を図る							
授業の一般目標	社会人と接するための最低限のマナーの習得。接客マナーの基本を身に付け、電話対応・企業訪問マナーを身に付ける。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を論理的に伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で販売やメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	企業様への電話対応・訪問時のマナーの実践							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	接客マナーとは	授業の目標・マナーの基本について						
第2週	接客マナーの基本①	表情・笑顔の演出トレーニング 笑顔の効果						
第3週	接客マナーの基本②	挨拶言葉とお辞儀実習 [基本の挨拶言葉/お辞儀]						
第4週	接客マナーの基本③	身だしなみを整える						
第5週	コミュニケーションスキル①	話し方の基本スキル [聴き方/話し方のポイント]						
第6週	コミュニケーションスキル②	言葉遣い 敬語の種類 [尊敬語/謙譲語/丁寧語]						
第7週	コミュニケーションスキル③	言葉遣い 相手に合わせた正しい敬語・クッション言葉を用いたロールプレイング						
第8週	電話対応①	電話の受け方 [対応の基本/電話を受ける流れ/よく使われる用語]						
第9週	電話対応②	話のかけ方 [タイミングを考える/準備をする/電話をかける流れ]						
第10週	電話対応③	電話対応ロールプレイング お客様、社内など様々なケースを想定したペアワーク						
第11週	来客・訪問対応①	来客対応 [基本の流れ/対応のポイント]						
第12週	来客・訪問対応②	案内(誘導) [案内のマナー/エレベーター]						
第13週	来客・訪問対応③	訪問のマナー [事前準備/当日のマナー/手順]						
第14週	期末試験対策	1~14回までの復習・ロールプレイング						
第15週	期末試験	企業様への電話対応・企業訪問のマナーのロールプレイング						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テスト・発表を実施する (3)授業内で課題を出題しレポートの提出をする 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものは単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点~70点
授業態度			◎	◎			30	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員					実務経験紹介			

科目名	接客マナー実習(応用)		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義/実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	百貨店研修・新入社員研修などで行われている接客マナーの学習内容をいち早く習得し、即戦力となる人材育成、ビューティーのプロを目指します							
授業の一般目標	接客レベルの向上を図り、百貨店・高級サロンなどラグジュアリーな接客マナーを習得し、即戦力となる人材を目指す							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を論理的に伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接客マナーに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接客マナーについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	オリエンテーション	授業の目標・ルール、接客販売マナーの心構え						
第2週	接客マナーの応用①	あいさつ・言葉遣い・接客8大用語 正しい敬語						
第3週	接客マナーの応用②	態度 見られているという意識・動待機と静待機						
第4週	接客マナーの応用③	場面別の接客スキル [お客様の来店からお見送りまで]						
第5週	お客様対応①	挨拶・アイスブレイクについて						
第6週	お客様対応②	ニーズの把握 質問カトレーニング						
第7週	お客様対応③	接客基礎 商品説明・プレゼンテーション						
第8週	販売コンテスト対策①	コンテスト準備						
第9週	販売コンテスト対策②	コンテスト準備						
第10週	販売コンテスト対策③	販売接客ロールプレイング練習						
第11週	販売コンテスト対策④	販売接客ロールプレイング練習						
第12週	販売コンテスト対策⑤	販売接客ロールプレイング練習						
第13週	販売コンテスト対策⑥	販売接客ロールプレイング練習						
第14週	販売コンテスト対策⑦	販売接客ロールプレイング練習						
第15週	期末試験	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テスト・発表を実施する (3)授業内で課題を出題しレポートの提出をする 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものは単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品					◎		10	不可(E):59点以下
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員					実務経験紹介			



科目名	メイクセラピー I		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・実習・グループワークを取り入れた授業 化粧品療法の領域における援助法の一つとして、心理的な援助活動に必要な「心理学」「コミュニケーション」メイクアップに必要な「メイク理論」「色彩学」を学びメイクセラピーの概念を総合的に習得する 適宜視覚教材を利用							
授業の一般目標	メイクセラピー検定2級取得 メイクセラピーにおける心理学・メイク理論を習得し説明ができる 心理カウンセリングの手法を身に付け、傾聴しながら半顔にメイクが出来る。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクセラピー検定2級公式テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクセラピーについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	傾聴をしながらオーダーに伴った印象に半顔にメイクで表現ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	オリエンテーション・メイクセラピー的心理学①	メイクセラピー検定について メイクセラピーとは 精神分析と無意識						
第2週	メイクセラピー的心理学②・メイク実習	論理療法・交流分析・防衛機制 キャリア系or癒し系メイク実習						
第3週	化粧品心理学①・メイク実習	化粧の歴史・役割・印象管理・ 求心OR遠心メイク						
第4週	化粧品心理学②・メイク実習	承認欲求と自己承認 オーダーに伴ったメイク						
第5週	カウンセリング概論・メイク実習	小テスト クライアントとの接し方 知的で大人っぽく仕事ができる印象メイク						
第6週	印象分析・メイクアップに必要な3要素メイク実習	パーツバランス・色彩・コスメティックスの質感 上品で優しく女性らしい印象メイク						
第7週	論述対策	事例に学ぶ、論述問題対策 明るく健康的で元気な印象						
第8週	2級試験対策・メイク実習	練習問題・論述問題対策・華やかでエレガントな印象				小テスト		
第9週	2級試験対策	練習問題(過去問) 論述問題対策・複数のオーダーから苦手なオーダーの練習						
第10週	2級試験対策	小テスト 練習問題(過去問)・出題傾向と注意点 複数のオーダーから苦手なオーダーの練習						
第11週	2級試験対策	メイクセラピー検定模擬試験(筆記・実技)						
第12週	メイクセラピー検定2級試験	メイクセラピー検定2級試験(筆記・実技)						
第13週	カウンセリング実習・メイク実習	オーダーカウンセリング～メイクアップ(半顔)						
第14週	期末試験対策	1～14回までの復習						
第15週	期末試験(筆記・実技)	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たない場合には単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎		○		20	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○	○			10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/</a>			

科目名	メイクセラピーⅡ		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<p>座学・ワーク・実習を中心とした授業  メイクセラピーテキストの他、サブテキストを参考に演技演習をしながら理解を深める。  検定試験の出題ポイントの習得の他、授業の振り返りも丁寧にを行い自分で考えて伝える力も育てる。  適宜視覚教材を使い、接客時に必要な信頼関係の築き方の実例を学ぶ。</p>							
授業の一般目標	<p>(1)メイクセラピー検定1級取得、クライアントとどのようにしたら信頼関係を構築できるのか、心理学を応用したカウンセリング技術を習得。  (2)傾聴をしながら、クライアントのオーダーに伴った印象メイクアップができるようになる  (3)授業で学んだ対人認知・印象管理などの技術を自分自身の就職活動・社会人生活にも活かせるように身につける。</p>							
受講条件	<p>出席80%以上が前提となる  出席時間不足のための補習は行なわない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。  授業開始時には事前準備を済ませておく事。</p>							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクセラピー検定2級・1級テキスト・VIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクセラピーについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	会話(傾聴中心)をしながらオーダーに伴った印象に半顔メイクができる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション・感情について考えよう	オリエンテーション1級試験について・実技審査項目と採点基準・DVD視聴						
第2回	カウンセリングについて学ぶ	カウンセリングについて・自己理解と他者理解						
第3回	対話分析・メイク実習	対話分析・オーダーに伴ったメイク実習						
第4回	カウンセリング実習・メイク実習	ラポールの構築・傾聴スキルオーダーに伴ったメイク実習						
第5回	カウンセリング実習・メイク実習	要約・共感・承認・メイク実習(職業別オーダーメイク)						
第6回	カウンセリング実習・メイク実習	ペーシング・沈黙の処理 メイク実習オーダーに伴ったメイク						
第7回	カウンセリング実習・メイク実習	質問・ビジョン・フォロー メイク実習						
第8回	カウンセリング実習(伝える技術)	フィードバック・ジョハリの窓 メイク実習						
第9回	メイクセラピー実習	オーダーカウンセリング～フォローカウンセリング						
第10回	1級試験対策	論述問題・対話分析・メイク実習				小テスト		
第11回	1級試験対策	筆記・実技対策 出題傾向とポイント						
第12回	筆記・実技対策	1級試験の諸注意・ポイント						
第13回	1級模擬試験	1級模擬試験						
第14回	メイクセラピー検定1級試験	メイクセラピー検定1級試験(筆記・実技)						
第15回	期末試験	実技試験						
成績評価方法								
<p>単位認定 総合成績60点、出席率80%以上  (1)期末試験を実施する  (2)授業内で小テストを実施する  (3)授業内で課題を提出する  以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものは単位を与えない。</p>								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		60	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				20	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート								良(B):79点～70点
授業態度			○	○			20	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/</a>			

科目名	解剖生理学 I		単位数	2	科目コード																																																																																																																													
授業形態	講義実習		対象学生	1年生	開設期	半期																																																																																																																												
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有																																																																																																																												
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を自己管理する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用																																																																																																																																	
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>解剖生理学の応用を学び習得する</li> <li>学んだ知識を基に、お客様が納得する説明ができる</li> </ul>																																																																																																																																	
受講条件	出席率80%以上が前提となる																																																																																																																																	
事前学習について (テキスト・参考書等)	INFAセオリー																																																																																																																																	
授業の到達目標	<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点 学び理解したことを説明する事ができる <input type="checkbox"/> 思考・判断の観点 学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる <input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。 <input type="checkbox"/> 態度の観点 日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる。 <input type="checkbox"/> 技能・表現の観点																																																																																																																																	
授業計画(全体)	基本的な知識を修得し応用に発展する。																																																																																																																																	
授業計画(授業単位)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>主題</th> <th>授業内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>導入 解剖生理学復習</td> <td>前期に学んだ解剖生理学の復習テスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>細胞 1</td> <td>細胞の構造について学ぶ(各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>細胞 2</td> <td>細胞の構造について学ぶ(各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>骨格系統 1</td> <td>骨の働きを理解する 骨の名称を覚える 骨を形状別に区別する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>骨格系統 2</td> <td>骨と関節の構造と役割について学ぶ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>筋肉 1</td> <td>筋肉の働きを理解する 筋肉の名称を覚える 筋肉の種類を理解する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>筋肉 2</td> <td>筋の収縮と疲労について学ぶ 運動と栄養と筋肉の関係について学ぶ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>皮膚 1</td> <td>皮膚の役目を理解する 表皮、真皮について学ぶ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>皮膚 2</td> <td>皮下組織について学ぶ 皮膚の付属器について学ぶ(汗腺・皮脂腺・毛・爪)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>皮膚 3</td> <td>様々な皮膚トラブルについて学ぶ アトピー性皮膚炎、アレルギー、紫外線により肌への影響、にきびの発生の仕方</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>消化器 1</td> <td>消化器の構造を学ぶ 概論、口腔と付属器、咽頭と食道</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第12回</td> <td>消化器 2</td> <td>消化器官について学ぶ(胃・小腸・大腸) 胃潰瘍、便秘について</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>消化器 3</td> <td>消化器官について学ぶ(肝臓・膵臓)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第14回</td> <td>栄養学 1</td> <td>主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>栄養学 2</td> <td>主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第16回</td> <td>栄養学 3</td> <td>主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第17回</td> <td>呼吸器</td> <td>呼吸器系について学ぶ 気道、肺、横隔膜、胸式呼吸と腹式呼吸 喫煙のデメリットについて</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第18回</td> <td>循環器 1</td> <td>循環器について学ぶ(血液の循環経路・心臓の働き) 心臓疾患について</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第19回</td> <td>循環器 2</td> <td>血液成分とその役割 各血管の特徴</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第20回</td> <td>循環器 3</td> <td>リンパについて学ぶ(リンパとは何か・リンパの循環経路)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第21回</td> <td>排泄器</td> <td>排泄器について学ぶ(腎臓の働き) 腎臓疾患について</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第22回</td> <td>神経系 1</td> <td>神経系を学ぶ(概論・神経系の分類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第23回</td> <td>神経系 2</td> <td>大脳皮質と脳幹・脊髄とその機能・神経の伝導路(うつ病、パーキンソン病の発症の仕組み)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第24回</td> <td>神経系 3</td> <td>自律神経 交感神経、副交感神経の働き(自律神経失調症発症の原因)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第25回</td> <td>内分泌 1</td> <td>ホルモンについて学ぶ(ホルモンの作用・ホルモン分泌をコントロールしているもの)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第26回</td> <td>内分泌 2</td> <td>主な内分泌腺とホルモンの働き(刺激ホルモン、甲状腺ホルモン、上皮小体ホルモン、副腎ホルモン)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第27回</td> <td>内分泌 3</td> <td>性腺と性ホルモン(更年期障害について その対処法)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第28回</td> <td>総合確認テスト</td> <td>各章の確認テスト実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第29回</td> <td>総合確認テスト 振り返り</td> <td>総合テストの振り返り学習 各章の復習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第30回</td> <td>期末試験</td> <td>期末試験実施</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						回	主題	授業内容	備考	第1回	導入 解剖生理学復習	前期に学んだ解剖生理学の復習テスト		第2回	細胞 1	細胞の構造について学ぶ(各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ)		第3回	細胞 2	細胞の構造について学ぶ(各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ)		第4回	骨格系統 1	骨の働きを理解する 骨の名称を覚える 骨を形状別に区別する		第5回	骨格系統 2	骨と関節の構造と役割について学ぶ		第6回	筋肉 1	筋肉の働きを理解する 筋肉の名称を覚える 筋肉の種類を理解する		第7回	筋肉 2	筋の収縮と疲労について学ぶ 運動と栄養と筋肉の関係について学ぶ		第8回	皮膚 1	皮膚の役目を理解する 表皮、真皮について学ぶ		第9回	皮膚 2	皮下組織について学ぶ 皮膚の付属器について学ぶ(汗腺・皮脂腺・毛・爪)		第10回	皮膚 3	様々な皮膚トラブルについて学ぶ アトピー性皮膚炎、アレルギー、紫外線により肌への影響、にきびの発生の仕方		第11回	消化器 1	消化器の構造を学ぶ 概論、口腔と付属器、咽頭と食道		第12回	消化器 2	消化器官について学ぶ(胃・小腸・大腸) 胃潰瘍、便秘について		第13回	消化器 3	消化器官について学ぶ(肝臓・膵臓)		第14回	栄養学 1	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ		第15回	栄養学 2	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ		第16回	栄養学 3	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ		第17回	呼吸器	呼吸器系について学ぶ 気道、肺、横隔膜、胸式呼吸と腹式呼吸 喫煙のデメリットについて		第18回	循環器 1	循環器について学ぶ(血液の循環経路・心臓の働き) 心臓疾患について		第19回	循環器 2	血液成分とその役割 各血管の特徴		第20回	循環器 3	リンパについて学ぶ(リンパとは何か・リンパの循環経路)		第21回	排泄器	排泄器について学ぶ(腎臓の働き) 腎臓疾患について		第22回	神経系 1	神経系を学ぶ(概論・神経系の分類)		第23回	神経系 2	大脳皮質と脳幹・脊髄とその機能・神経の伝導路(うつ病、パーキンソン病の発症の仕組み)		第24回	神経系 3	自律神経 交感神経、副交感神経の働き(自律神経失調症発症の原因)		第25回	内分泌 1	ホルモンについて学ぶ(ホルモンの作用・ホルモン分泌をコントロールしているもの)		第26回	内分泌 2	主な内分泌腺とホルモンの働き(刺激ホルモン、甲状腺ホルモン、上皮小体ホルモン、副腎ホルモン)		第27回	内分泌 3	性腺と性ホルモン(更年期障害について その対処法)		第28回	総合確認テスト	各章の確認テスト実施		第29回	総合確認テスト 振り返り	総合テストの振り返り学習 各章の復習		第30回	期末試験	期末試験実施	
回	主題	授業内容	備考																																																																																																																															
第1回	導入 解剖生理学復習	前期に学んだ解剖生理学の復習テスト																																																																																																																																
第2回	細胞 1	細胞の構造について学ぶ(各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ)																																																																																																																																
第3回	細胞 2	細胞の構造について学ぶ(各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ)																																																																																																																																
第4回	骨格系統 1	骨の働きを理解する 骨の名称を覚える 骨を形状別に区別する																																																																																																																																
第5回	骨格系統 2	骨と関節の構造と役割について学ぶ																																																																																																																																
第6回	筋肉 1	筋肉の働きを理解する 筋肉の名称を覚える 筋肉の種類を理解する																																																																																																																																
第7回	筋肉 2	筋の収縮と疲労について学ぶ 運動と栄養と筋肉の関係について学ぶ																																																																																																																																
第8回	皮膚 1	皮膚の役目を理解する 表皮、真皮について学ぶ																																																																																																																																
第9回	皮膚 2	皮下組織について学ぶ 皮膚の付属器について学ぶ(汗腺・皮脂腺・毛・爪)																																																																																																																																
第10回	皮膚 3	様々な皮膚トラブルについて学ぶ アトピー性皮膚炎、アレルギー、紫外線により肌への影響、にきびの発生の仕方																																																																																																																																
第11回	消化器 1	消化器の構造を学ぶ 概論、口腔と付属器、咽頭と食道																																																																																																																																
第12回	消化器 2	消化器官について学ぶ(胃・小腸・大腸) 胃潰瘍、便秘について																																																																																																																																
第13回	消化器 3	消化器官について学ぶ(肝臓・膵臓)																																																																																																																																
第14回	栄養学 1	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ																																																																																																																																
第15回	栄養学 2	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ																																																																																																																																
第16回	栄養学 3	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ																																																																																																																																
第17回	呼吸器	呼吸器系について学ぶ 気道、肺、横隔膜、胸式呼吸と腹式呼吸 喫煙のデメリットについて																																																																																																																																
第18回	循環器 1	循環器について学ぶ(血液の循環経路・心臓の働き) 心臓疾患について																																																																																																																																
第19回	循環器 2	血液成分とその役割 各血管の特徴																																																																																																																																
第20回	循環器 3	リンパについて学ぶ(リンパとは何か・リンパの循環経路)																																																																																																																																
第21回	排泄器	排泄器について学ぶ(腎臓の働き) 腎臓疾患について																																																																																																																																
第22回	神経系 1	神経系を学ぶ(概論・神経系の分類)																																																																																																																																
第23回	神経系 2	大脳皮質と脳幹・脊髄とその機能・神経の伝導路(うつ病、パーキンソン病の発症の仕組み)																																																																																																																																
第24回	神経系 3	自律神経 交感神経、副交感神経の働き(自律神経失調症発症の原因)																																																																																																																																
第25回	内分泌 1	ホルモンについて学ぶ(ホルモンの作用・ホルモン分泌をコントロールしているもの)																																																																																																																																
第26回	内分泌 2	主な内分泌腺とホルモンの働き(刺激ホルモン、甲状腺ホルモン、上皮小体ホルモン、副腎ホルモン)																																																																																																																																
第27回	内分泌 3	性腺と性ホルモン(更年期障害について その対処法)																																																																																																																																
第28回	総合確認テスト	各章の確認テスト実施																																																																																																																																
第29回	総合確認テスト 振り返り	総合テストの振り返り学習 各章の復習																																																																																																																																
第30回	期末試験	期末試験実施																																																																																																																																
成績評価方法	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。																																																																																																																																	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準																																																																																																																										
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点																																																																																																																										
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点																																																																																																																										
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点																																																																																																																										
授業態度			○				10	可(D):69点~60点																																																																																																																										
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下																																																																																																																										
演習							評価なし																																																																																																																											
出席			○				欠格条件																																																																																																																											
担当教員	荒木 真衣			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>																																																																																																																													

科目名	解剖生理学Ⅱ		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を自己管理する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>解剖生理学の応用を学び習得する</li> <li>学んだ知識を基に、お客様が納得する説明ができる</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	INFAセオリー							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1週	皮膚学 応用	表皮の構造を深く理解する ターンオーバー、保湿因子、バリア機能 真皮の構造を深く理解する 基底膜、各細胞と繊維の働き						
第2週	皮膚生理学 皮膚の生理機能とは	皮膚の生理機能 生理機能7つを理解する						
	皮膚生理学 美しい素肌とは	美しい素肌の条件 美しい素肌の条件6つを理解する						
第3週	皮膚のアルカリ中和能	皮膚のアルカリ中和能 ODT 経皮吸収						
	皮膚生理学 様々な状態での皮膚の変化	皮膚の汚れの種類 季節別による皮膚 気温と皮膚						
第4週	皮膚とストレスの関係	皮膚とストレスの関係を理解する ストレスとホメオスタシス ランゲルハンス細胞、NK細胞、副腎皮質ホルモン、自律神経						
第5週	皮膚と女性ホルモンの関係	皮膚と女性ホルモンの関係を理解する 月経周期による肌の変化 更年期と肌の変化						
第6週	皮膚と睡眠の関係	皮膚と睡眠の関係を理解する 成長ホルモン、レム睡眠、ノンレム睡眠 睡眠とホルモンの関係を理解する						
第7週	美しい肌になるための食生活について①	肌が美しくなる栄養素を理解する ビタミン、ミネラル、脂肪酸						
第8週	美しい肌になるための食生活について②	肌が美しくなる栄養素を理解する アミノ酸						
第9週	皮膚と紫外線	皮膚と紫外線の関係を理解する 紫外線の分類と皮膚への作用 紫外線防御とSPF メラニンの生成過程と美白剤を理解する メラニン合成経路、適応する美白剤						
第10週	皮膚と色素異常 皮膚と湿疹	皮膚と色素異常について理解する 肝斑、そばかす等 皮膚と湿疹について理解する 湿疹の分類方法と発症過程						
第11週	アレルギーについて アトピー性皮膚炎について	アレルギーについて理解する 一次刺激性とアレルギー性皮膚炎の違い アレルギーを起こす原因物質 アトピー性皮膚炎について理解する 定義と症状、かゆみの発症過程と治療法、 スキンケアのポイント						
第12週	にきびについて	にきびについて理解する にきびの症状と発症メカニズム 皮脂過剰原因、毛孔閉塞原因、炎症原因 にきびのスキンケアのポイントを理解する						
第13週	皮膚生理学 皮膚の内面美容 概論	皮膚と自律神経、ホルモン、大脳間質の関係						
	皮膚生理学 皮膚と内臓	皮膚と内臓の関係を理解する 内臓疾患が肌に与える影響						
第14週	エステティック機器学について ①	エステティック機器学について理解する 機器の使用法、原理、仕組み						
	エステティック機器学について ②	電気的2重層について理解する 医療美容について						
第15週	期末試験	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績80点、出席率80%以上 前半試験70%、補修10%、小テスト&確認テスト10%を揃えて総合評価を行う								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木 真衣		実務経験紹介		<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>			

科目名	メイクアップ総合		単位数	3	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	傾聴スキルを習得しクライアントのなりたい印象を引き出しオーダーに伴ったメイクができるようになる 今まで学んだ知識・技術を用いてメイクレッスンができるようになる。							
授業の一般目標	傾聴スキルを用いて会話をしながらメイクができるようになる。 今まで学んだ知識・技術を人に教えることができる メイク(スキンケア)講座を開講することができる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクアップについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	カウンセリングでなりたい印象を引き出し、オーダーに伴ったメイクができるようになる。複数人に対してメイクを教えることができる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	オリエンテーション・コミュニケーションスキル	授業の目標・コミュニケーションスキル総復習						
第2週	メイクセラピー実習①	オーダーカウンセリング～フォローカウンセリング						
第3週	動画の組み立て	導入・展開・まとめについて						
第4週	レッスン動画作成計画	役割決め・レッスン動画作成計画						
第5週	メイク講座の組み立て方	導入・展開・まとめについて・メニューの考案						
第6週	サロン運営の概要決定	サロン運営をする上でのタイムスケジュールの決定 準備物の確認 役割分担の決定 メニューの決定 企画書の作成						
第7週	レッスンプラン作成	施術内容・価格・タイムスケジュール						
第8週	メイクレッスン動画作成	メイクレッスン動画作成						
第9週	メイクレッスン動画作成	メイクレッスン動画作成						
第10週	メイクレッスン動画作成・メイク動画披露	メイクレッスン動画作成						
第11週	模擬メイク講座	模擬メイク講座開講						
第12週	サロン運営の概要決定	サロン運営をする上でのタイムスケジュールの決定 準備物の確認 役割分担の決定 メニューの決定 企画書の作成						
第13週	接客対応について考える	サロンの一連の流れを考え、決定する 接客対応のシミュレーションを実施						
第14週	接客練習	サロンメニューのシミュレーション・実技練習を行う						
第15週	期末試験	ロープレ接客						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○		◎		50	秀(S):100点～90点
小テスト	◎				◎		20	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度				○			10	可(D):69点～60点
発表・作品	◎		○		◎		20	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員				実務経験紹介				

科目名	ネイル I		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネイル検定2級(ネイルケア・カラー・チップラップ・検定アート) アクリルベーシック(アクリル概論・スカルプ・チップオーバーレイ) ジェルベーシック1(ジェル概論・プレパレーション・フローター・オフ・ジェルアート基礎) ネイルアートベーシック(フラットアート・エンボスアート・3Dアート)							
授業の一般目標	JNECネイリスト技能検定試験2級取得 JNECネイリスト技能検定試験1級受験準備 JNAジェルネイル技能検定試験初級取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JNAテクニカルシステム ベーシック ジェル							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ネイルアートに関する関心を広げることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	自ら積極的にネイルアートに関し提案することができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	検定アート・ベーシックなネイルアートができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	検定対策	ケア・検定カラー・チップラップ						
第2週	アート	フラットアート						
第3週	検定対策	ケア・検定カラー・チップラップ						
第4週	検定対策	ケア・検定カラー・チップラップ						
第5週	検定対策	2級解説・手順説明・検定アート						
第6週	アート	フラットアート						
第7週	検定対策	2級後半練習						
第8週	アート	フラットアート						
第9週	検定対策	2級検定試験模擬						
第10週	アート	エンボスアート						
第11週	検定対策	2級検定対策						
第12週	検定対策	2級検定対策						
第13週	アート	3Dアート						
第14週	アート	ミックスメディアアート						
第15週	検定対策	1級対策						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点50点 小テスト模擬テスト課題40点、検定合格10点 ネイル検定2級取得を卒業要件とする								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	ネイルⅡ		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	アクリル基礎 アクリルベーシック (アクリル概論・スカルプ・チップオーバーレイ・3Dアート) ジェルベーシック1 (ジェル概論・プレパレーション・フローター・オフ・ジェルアート基礎)							
授業の一般目標	JNECネイリスト技能検定試験2級取得 JNECネイリスト技能検定試験1級受験準備 JNAジェルネイル技能検定試験初級取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	アクリルに関する関心を広げることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	自ら積極的にアクリルについて予習復習をすることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	スカルプ・チップオーバーレイ・3Dアートができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	アクリルベーシック	アクリル概論・ミクスチャートトレーニング						
第2週	アクリルベーシック	ハンド製作・フォーム						
第3週	アクリルベーシック	アプリケーション・ピンチ						
第4週	アクリルベーシック	アプリケーション・ファイル						
第5週	アクリルベーシック	フィリング						
第6週	アクリルベーシック	スカルプハンド練習						
第7週	アクリルベーシック	スカルプ相モデル						
第8週	アクリルベーシック	スカルプ相モデル						
第9週	アクリルベーシック	チップオーバーレイ						
第10週	検定対策	1級対策						
第11週	検定対策	1級対策						
第12週	検定対策	2級検定対策						
第13週	検定対策 1級	1級検定対策						
第14週	検定対策 1級	1級検定対策						
第15週	検定対策 1級	1級検定対策						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点50点 小テスト模擬テスト課題40点、検定合格10点 ネイル検定2級取得を卒業要件とする								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	ネイルⅢ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義実習	対象学生	1年生	開設期	半期			
区分	選択必修	開設時期	後期	教員実務経験対象	-			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	検定2級（ネイルケア・カラー・チップラップ・検定アート） アクリルベーシック（アクリル概論・スカルプ・チップオーバーレイ・3Dアート） ジェルベーシック1（ジェル概論・プレパレーション・フローター・オフ・ジェルアート基礎）							
授業の一般目標	JNECネイリスト技能検定試験2級取得 JNECネイリスト技能検定試験1級受験準備 JNAジェルネイル技能検定試験初級取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ジェルアートに関する関心を広げることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	自ら積極的にジェルアートについて予習復習をすることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	基本的なプレパレーション・フローター・オフ・ジェルアートができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	ジェルベーシック	後期教材配布・商品説明・ジェル概論						
第2週	ジェルベーシック	プレパレーション・ジェルフローター・オフ						
第3週	ジェルベーシック	フローターオフ						
第4週	ジェルベーシック	ジェルアート						
第5週	ジェルベーシック	フローター						
第6週	ジェルベーシック	ジェルアート						
第7週	ジェル検定対策	ジェル検定初級概要・手順						
第8週	ジェル検定対策	初級検定対策						
第9週	ジェル検定対策	初級検定対策						
第10週	ジェル検定対策	ジェルアート						
第11週	ジェル検定対策	初級検定対策						
第12週	検定対策	初級検定対策						
第13週	ジェル検定対策	初級検定対策						
第14週	ジェル検定対策	初級検定対策						
第15週	まとめ	初級検定対策						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点50点 小テスト模擬テスト課題40点、検定合否10点 ネイル検定2級取得を卒業要件とする								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				



科目名	ネイルⅣ		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	検定2級（ネイルケア・カラー・チップラップ・検定アート） アクリルベーシック（アクリル概論・スカルプ・チップオーバーレイ・3Dアート） ジェルベーシック1（ジェル概論・プレパレーション・フローター・オフ・ジェルアート基礎）							
授業の一般目標	JNECネイリスト技能検定試験2級取得 JNECネイリスト技能検定試験1級受験準備 JNAジェルネイル技能検定試験初級取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ジェルアートに関する関心を広げることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	自ら積極的にジェルアートについて予習復習をすることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	スカルプ・チップオーバーレイ・3Dアートができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	復習	ネイルケア復習						
第2週	復習	ネイルケア復習						
第3週	復習	ネイルケア復習						
第4週	復習	チップラップ復習						
第5週	復習	チップラップ復習						
第6週	復習	チップラップ復習						
第7週	復習	検定アート						
第8週	復習	検定アート						
第9週	復習	アクリル復習						
第10週	復習	アクリル復習						
第11週	復習	アクリル復習						
第12週	復習	アクリル復習						
第13週	復習	アクリル復習						
第14週	復習	アクリル復習						
第15週	復習	アクリル復習						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点50点 小テスト模擬テスト課題40点、検定合否10点 ネイル検定2級取得を卒業要件とする								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		50	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点～70点
授業態度			○				10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員					実務経験紹介			

科目名	ネイルV		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネイル総合(アクリル・ジェルネイル・ケアカラー・ネイルアート・フットケア) ネイル資格・試験の対策							
授業の一般目標	サロンワークに通ずるネイル知識の習得 サロンワークに通ずるネイル技術の習得 就職活動に活かせるネイル知識の取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ジェルアートに関する関心を広げることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	自ら積極的にジェルアートについて予習復習をすることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	課題に沿ったジェルアートができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	フット学科・アート	検定対策						
第2週	フット学科・アート	ネイルケアアドバンス・フット学科/ジェルアート						
第3週	フット学科・アート	ハンドケア・フットケア・フット学科						
第4週	フット実技	ネイルケアアドバンス・フット学科/ジェルアート						
第5週	フット実技	ハンドケア・フットケアカラー・フット学科						
第6週	フット実技	ネイルケアアドバンス・フット学科/ジェルアート						
第7週	フット実技	フットケアカラー・角質除去						
第8週	フット実技	フットケアカラー・角質除去						
第9週	ジェル	フットケアカラー・角質除去テスト						
第10週	ジェル	フット検定						
第11週	ジェル	ジェル検定中級対策						
第12週	ジェル	ジェル検定中級対策						
第13週	ジェル	ジェル検定中級対策						
第14週	ジェル	ジェル検定中級対策						
第15週	期末テスト	ジェル検定 自校開催 期末テスト						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点50点 小テスト模擬テスト課題40点、検定合否10点 ネイル検定2級取得を卒業要件とする								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		40	秀(S):100点~90点
小テスト	◎		○		○		20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート			○				10	良(B):79点~70点
授業態度				◎			30	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介							

科目名	ネイルVI	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義実習	対象学生	2年生	開設期	半期			
区分	選択必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	-			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネイル総合(アクリル・ジェルネイル・ケアカラー・ネイルアート・フットケア) ネイル資格・試験の対策							
授業の一般目標	サロンワークに通ずるネイル知識の習得 サロンワークに通ずるネイル技術の習得 就職活動に活かせるネイル知識の取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	スイートサンシャイン ベーシックテキスト アドバンステキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ジェルアートに関する関心を広げることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	自ら積極的にジェルアートについて予習復習をすることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	サロンワークに通ずるネイル技術ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	コンテスト対策	アクリルアドバンス、マシン						
第2週		アクリル アドバンス、マシン						
第3週		アクリルアドバンス、マシン						
第4週		アクリル アドバンス、マシン						
第5週		アクリル コンテストスタイル						
第6週		アクリル コンテストスタイル						
第7週	フット	アクリル コンテストスタイル						
第8週	フット	アクリル コンテストスタイル						
第9週	西日本市地区大会	西日本地区大会出場						
第10週	ジェル	アクリル コンテストスタイル						
第11週		アクリル コンテストスタイル						
第12週		アクリル コンテストスタイル						
第13週		アクリル コンテストスタイル						
第14週		アクリル コンテストスタイル						
第15週		ジェル検定中級・後半実技						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点50点 小テスト模擬テスト課題40点、検定合格10点 ネイル検定2級取得を卒業要件とする								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		30	秀(S):100点~90点
小テスト	◎		○		○		20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート			○				10	良(B):79点~70点
授業態度				◎			30	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				10	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	ネイルⅦ		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネイル総合(アクリル・ジェルネイル・ケアカラー・ネイルアート・フットケア) ネイル資格・試験の対策							
授業の一般目標	サロンワークに通ずるネイル知識の習得 サロンワークに通ずるネイル技術の習得 就職活動に活かせるネイル知識の取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	スイートサンシャイン ベーシックテキスト アドバンステキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ジェルアートに関する関心を広げることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	自ら積極的にジェルアートについて予習復習をすることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	入客チェック	入客マニュアル						
第2週	入客チェック	入客マニュアル						
第3週	入客チェック	入客マニュアル						
第4週	入客チェック	ハンドマッサージ						
第5週	入客チェック	フットマッサージ						
第6週	入客チェック	プレバレーション						
第7週	入客チェック	グラデーション①						
第8週	入客チェック	グラデーション②						
第9週	入客チェック	フレンチ						
第10週	入客チェック	フレンチ						
第11週	入客チェック	オフ						
第12週	入客チェック	共通デザイン						
第13週	入客チェック	共通デザイン						
第14週	アート	共通デザイン						
第15週	アート	期末テスト						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点50点 小テスト模擬テスト課題40点、検定合否10点 ネイル検定2級取得を卒業要件とする								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		30	秀 (S):100点~90点
小テスト	◎		○		○		20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート			○				10	良 (B):79点~70点
授業態度				◎			30	可 (D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				失格条件	
担当教員					実務経験紹介			

科目名	ネイルⅧ		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネイル総合(アクリル・ジェルネイル・ケアカラー・ネイルアート・フットケア) ネイル資格・試験の対策							
授業の一般目標	サロンワークに通ずるネイル知識の習得 サロンワークに通ずるネイル技術の習得 就職活動に活かせるネイル知識の取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	スイートサンシャイン ベーシックテキスト アドバンステキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ジェルアートに関する関心を広げることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	自ら積極的にジェルアートについて予習復習をすることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	挨拶、全員自己紹介 SNS事情	なぜSNSなのか SNSは集客は出来るのか						
第2週	ブランディングの話	SNSアカウントの発表 ブランディング						
第3週	サロンコンセプト発表	ロケ写チェック 各自サロンコンセプト発表						
第4週	ニュアンスアート①	ニュアンスアートとは						
第5週	ニュアンスアート②	アートデモ 実践						
第6週	ニュアンスアート③	アートデモ 実践						
第7週	ニュアンスアート④	アートデモ 実践						
第8週	ニュアンスアート⑤	アートデモ 実践						
第9週	ニュアンスアート⑥	アートデモ 実践						
第10週	アートの捉え方考え方 (2023秋冬トレンド)	雑誌を使用したトレンド勉強 アートへの転換						
第11週	サロンワークにおける カウンセリングについて	カウンセリング デザイン提案について						
第12週	トレンドアート①	アートデモ 実践 応用編						
第13週	トレンドアート②	アートデモ 実践 応用編						
第14週	トレンドアート③	アートデモ 実践 応用編						
第15週	課題提出	課題提出 質疑応答						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点50点 小テスト模擬テスト課題40点、検定合格10点 ネイル検定2級取得を卒業要件とする								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		30	秀 (S):100点~90点
小テスト	◎		○		○		10	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート			○				10	良 (B):79点~70点
授業態度				◎			30	可 (D):69点~60点
発表・作品				◎	◎		20	不可(E):59点以下
演習								
出席			○					欠格条件
担当教員					実務経験紹介			

科目名	ネイル特論 I		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネイル総合(アクリル・ジェルネイル・ネイルアート)ネイル資格・試験の対策 サロンワークに通ずるネイルの知識の習得 就職活動に活かせるネイル資格の取得							
授業の一般目標	JNAジェル検定上級検定取得 JNECネイリスト技能試験1・2級取得 就職に活用できる、知識・資格の勉強を通じ、職業意識を高める							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JNAテクニカルシステム(ベーシック)(ジェルネイル) スウィートサンシャイン ベーシックテキスト・アドバンステキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ネイルに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でネイルについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	サロンワークに通ずるネイル技術ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	検定対策	各受験級の苦手克服						
第2週	検定対策	各受験級の苦手克服						
第3週	ジェルネイル	ジェルスカルブ						
第4週	ジェルネイル	ジェルスカルブ						
第5週	ジェルネイル	ジェルチップオーバーレイ						
第6週	ジェルネイル	ジェルデザインオーバーレイ						
第7週	ジェルネイル	ジェルフレンチオーバーレイ						
第8週	ジェルネイル	ジェル検定上級対策						
第9週	ジェルネイル	ジェル検定上級対策						
第10週	ジェルネイル	ジェル検定上級対策						
第11週	ジェルネイル	ジェル検定上級対策						
第12週	ジェルネイル	ジェル検定上級対策						
第13週	ジェルネイル	ジェル検定上級対策						
第14週	ジェルネイル	ジェル検定上級対策						
第15週	ジェルネイル期末試験	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点~70点
授業態度							評価なし	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習					◎		30	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	解剖生理学 I		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を自己管理する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>解剖生理学の応用を学び習得する</li> <li>学んだ知識を基に、お客様が納得する説明ができる</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	INFAセオリー							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)	基本的な知識を修得し応用に発展する。							
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容	備考					
第1回	導入 解剖生理学復習	前期に学んだ解剖生理学の復習テスト						
第2回	細胞 1	細胞の構造について学ぶ(各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ)						
第3回	細胞 2	細胞の構造について学ぶ(各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ)						
第4回	骨格系統 1	骨の働きを理解する 骨の名称を覚える 骨を形状別に区別する						
第5回	骨格系統 2	骨と関節の構造と役割について学ぶ						
第6回	筋肉 1	筋肉の働きを理解する 筋肉の名称を覚える 筋肉の種類を理解する						
第7回	筋肉 2	筋の収縮と疲労について学ぶ 運動と栄養と筋肉の関係について学ぶ						
第8回	皮膚 1	皮膚の役目を理解する 表皮、真皮、について学ぶ						
第9回	皮膚 2	皮下組織について学ぶ 皮膚の付属器について学ぶ(汗腺・皮脂腺・毛・爪)						
第10回	皮膚 3	様々な皮膚トラブルについて学ぶ アトピー性皮膚炎、アレルギー、紫外線により肌への影響、にきびの発生の仕方						
第11回	消化器 1	消化器の構造を学ぶ 概論、口腔と付属器、咽頭と食道						
第12回	消化器 2	消化器官について学ぶ(胃・小腸・大腸) 胃潰瘍、便秘について						
第13回	消化器 3	消化器官について学ぶ(肝臓・膵臓)						
第14回	栄養学 1	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ						
第15回	栄養学 2	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ						
第16回	栄養学 3	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ						
第17回	呼吸器	呼吸器系について学ぶ 気道、肺、横隔膜、胸式呼吸と腹式呼吸 喫煙のデメリットについて						
第18回	循環器 1	循環器について学ぶ(血液の循環経路・心臓の働き) 心臓疾患について						
第19回	循環器 2	血液成分とその役割 ・各血管の特徴						
第20回	循環器 3	リンパについて学ぶ(リンパとは何か・リンパの循環経路)						
第21回	排泄器	排泄器について学ぶ(腎臓の働き) 腎臓疾患について						
第22回	神経系 1	神経系を学ぶ(概論・神経系の分類)						
第23回	神経系 2	大脳皮質と脳幹・脊髄とその機能・神経の伝導路(うつ病、パーキンソン病の発症の仕組み)						
第24回	神経系 3	自律神経 交感神経、副交感神経の働き(自律神経失調症発症の原因)						
第25回	内分泌 1	ホルモンについて学ぶ(ホルモンの作用・ホルモン分泌をコントロールしているもの)						
第26回	内分泌 2	主な内分泌腺とホルモンの働き(刺激ホルモン、甲状腺ホルモン、上皮小体ホルモン、副腎ホルモ ン)						
第27回	内分泌 3	性腺と性ホルモン(更年期障害について その対処法)						
第28回	総合確認テスト	各章の確認テスト実施						
第29回	総合確認テスト 振り返り	総合テストの振り返り学習 各章の復習						
第30回	期末試験	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木 真衣			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>			

科目名	解剖生理学Ⅱ		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を自己管理する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>解剖生理学の応用を学び習得する</li> <li>学んだ知識を基に、お客様が納得する説明ができる</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	INFAセオリー							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容	備 考					
第1週	皮膚学 応用	表皮の構造を深く理解する ターンオーバー、保湿因子、バリア機能 真皮の構造を深く理解する 基底膜、各細胞と線維の働き						
第2週	皮膚生理学 皮膚の生理機能とは	皮膚の生理機能 生理機能7つを理解する						
	皮膚生理学 美しい素肌とは	美しい素肌の条件 美しい素肌の条件6つを理解する						
第3週	皮膚のアルカリ中和能	皮膚のアルカリ中和能 ODT 経皮吸収						
	皮膚生理学 様々な状態での皮膚の変化	皮膚の汚れの種類 季節別による皮膚 気温と皮膚						
第4週	皮膚とストレスの関係	皮膚とストレスの関係を理解する ストレスとホメオスタシス ランゲルハンス細胞、NK細胞、副腎皮質ホルモン、自律神経						
第5週	皮膚と女性ホルモンの関係	皮膚と女性ホルモンの関係を理解する 月経周期による肌の変化 更年期と肌の変化						
第6週	皮膚と睡眠の関係	皮膚と睡眠の関係を理解する 成長ホルモン、レム睡眠、ノンレム睡眠 睡眠とホルモンの関係を理解する						
第7週	美しい肌になるための食生活について①	肌が美しくなる栄養素を理解する ビタミン、ミネラル、脂肪酸						
第8週	美しい肌になるための食生活について②	肌が美しくなる栄養素を理解する アミノ酸						
第9週	皮膚と紫外線	皮膚と紫外線の関係を理解する 紫外線の分類と皮膚への作用 紫外線防御とSPF メラニンの生成過程と美白剤を理解する メラニン合成経路、適応する美白剤						
第10週	皮膚と色素異常 皮膚と湿疹	皮膚と色素異常について理解する 肝斑、そばかす等 皮膚と湿疹について理解する 湿疹の分類方法と発症過程						
第11週	アレルギーについて アトピー性皮膚炎について	アレルギーについて理解する 一次刺激性とアレルギー性皮膚炎の違い アレルギーを起こす原因物質 アトピー性皮膚炎について理解する 定義と症状、かゆみの発症過程と治療法、 スキンケアのポイント						
第12週	にきびについて	にきびについて理解する にきびの症状と発症メカニズム 皮脂過剰原因、毛孔閉塞原因、炎症原因 にきびのスキンケアのポイントを理解する						
第13週	皮膚生理学 皮膚の内面美容 概論	皮膚と自律神経、ホルモン、大脳間質の関係						
	皮膚生理学 皮膚と内臓	皮膚と内臓の関係を理解する 内臓疾患が肌に与える影響						
第14週	エステティック機器学について ①	エステティック機器学について理解する 機器の使用法、原理、仕組み						
	エステティック機器学について ②	電気的2重層について理解する 医療美容について						
第15週	期末試験	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績80点、出席率80%以上 前半試験70%、補修10%、小テスト&確認テスト10%を揃えて総合評価を行う								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点～70点
授業態度			○				10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木 真衣		実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>				



科目名	解剖生理学Ⅲ(口述)		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を自己管理する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>解剖生理学の応用を学び習得する</li> <li>学んだ知識を基に、お客様が納得する説明ができる</li> <li>INFA国際ライセンス国内卒業筆記試験合格</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	INFAセオリー							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容			備考			
第1回	口頭試験について 細胞 応用	口頭試験のポイント 評価基準 過去の口頭試験内容 細胞について(細胞膜、各細胞内小器官の働き)						
第2回	骨格系統 応用	骨の細胞、骨は何でできているか、骨とホルモン、骨髄、種子骨、肋骨、肋骨はどこについているか、骨中の骨の数、骨の代謝						
第3回	筋肉系統 応用	筋肉と骨はどのようにしているか、スカルパ三角、各筋肉、顔の筋肉、首の筋肉 肩こり						
第4回	皮膚学 応用 ①	表皮、真皮、皮下組織(種類)、皮脂腺・汗腺、セルライト 紫外線						
第5回	皮膚学 応用 ②	表皮、真皮、皮下組織(種類)、皮脂腺・汗腺、セルライト 紫外線						
第6回	消化器系統 応用 ①	消化腺 胃 小腸 大腸 肝臓 消化吸収について						
第7回	消化器系統 応用 ②	胃腸障害について 食物繊維について						
第7回	消化器系統 応用 ③	栄養学 3大栄養素 ビタミン ミネラル 脂肪酸 タラソセラピー						
第8回	呼吸器系統 応用	肺について 横隔膜 呼吸方法 活性酸素について						
第9回	循環器系統 応用	心臓 血液とは 血液循環 リンパとは リンパ循環 リンパ節 免疫とは むくみについて						
第10回	排泄器系統 応用 神経系統 応用①	尿について 腎臓の働きについて 脳・神経について 自律神経						
第11回	神経系統 応用②	脳・神経について 自律神経						
第12回	内分泌系統 応用①	成長ホルモン 甲状腺ホルモン 上皮小体ホルモン 副腎髄質ホルモン 糖尿病 性ホルモン						
第13回	内分泌系統 応用②	サーカディアンリズム 睡眠について						
第14回	カルテチェック カンファレンス	作成したカルテをもとにカンファレンスを行う						
第15回	期末試験	期末試験の実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木 真衣			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>			

科目名	エステ(ボディ)		単位数	8	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	実技中心の授業。 学習プリントで技術の習得状況、未習得状況を自己管理する。 適宜チェックテストを実施し、テクニックを確実にする							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージの効果・テクニックを習得する</li> <li>・社会に出て「サロンで働く」上で、必要なルール・マナー・守秘義務・清掃を習得する</li> <li>・社会に出て「サロンで働く」上で必要な時間管理能力を身につける</li> <li>・INFA国際ライセンス ボディサポート国内卒業試験合格</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)	基本的な知識を修得し応用に発展する。							
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容	備 考					
第1週	導入 確認テスト	実習室使用方法、清掃方法の確認。 コース内のルールを決定。 下肢背面確認テストの実施。						
第2週	ヒップマッサージの習得 ヒップアップの手技を習得 立体的なヒップメイキングの手技を習得	ヒップ軽擦、ヒップバイブレーション 3点ブッシュ、ヒップタッピング、切打、拍打						
第3週	背中のマッサージの習得 背中の痛みを和らげる手技 背中の血行促進の手技	背中軽擦、8点ブッシュ、のこぎり、6点圧						
第4週	背面のマッサージのクオリティを上げる①(下肢背面、ヒップ、背中)	下肢背面、ヒップ、背中のマッサージの復習 連続性、リズム、効果を意識しマッサージを行う						
第5週	背面のマッサージのクオリティを上げる②(下肢背面、ヒップ、背中)	苦手箇所、修正箇所の確認。 背面マッサージを完璧に施術できるようになる						
第6週	美脚マッサージを習得する むくみの解消 立体的なふくらはぎをつくる セルライトを解消する	下肢前面軽擦、足の指先マッサージ ベトリサージュ、切打、拍打 さすりあげ、9点ブッシュ						
第7週	理想的なウェスト作りの手技を習得 細いウェストを作る 便秘解消マッサージ	腹部軽擦、ふなごぎ、ベトリサージュ 三角形のマッサージ、大腸マッサージ						
第8週	前面のマッサージのクオリティを上げる①(下肢前面、腹部)	下肢前面、腹部のマッサージの復習 連続性、リズム、効果を意識しマッサージを行う						
第9週	前面のマッサージのクオリティを上げる②(下肢前面、腹部)	苦手箇所、修正箇所の確認。 前面マッサージを完璧に施術できるようになる						
第10週	・気になる二の腕を細くするマッサージの習得 細い指先をつくる 細い二の腕をつくる ・フットケア、 ・w a x	上腕の軽擦、8点ブッシュ、手のひら、ストレッチ、 脇のリンパを流す フットケア、ネイルケア、 水溶性w a x						
第11週	肩から首のマッサージを習得する 肩こりの解消 顔のむくみの解消 ・ベディキュア	頸部マッサージ ベディキュア						
第12週	理想的なバスト形成のマッサージを習得する バストアップ、胸の谷間の緻とりの手技 バストボリュームアップ、形状記憶の手技	バスト軽擦、3点のつぼ、リサージュ、エフルラージュ エバンターユ、輪上軽擦、バイブレーション						
第13週	美しいバストをメイキングする	バストマッサージの復習 バストバック、O D T						
第14週	I N F A 試験項目の復習 ①	カウンセリング、カルテ作成を行い、お客様に的確なアドバイスをした上で、施術時間を管理し、効果、目的を意識しながら試験項目の施術ができるようになる						
第15週	I N F A 試験項目の復習 ②	カウンセリング、カルテ作成を行い、お客様に的確なアドバイスをした上で、施術時間を管理し、効果、目的を意識しながら試験項目の施術ができるようになる						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木 真衣		実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>				

科目名	エステ(フェイシャル)		単位数	8	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	実技中心の授業 学習プリントで技術の習得状況、未習得状況を自己管理する 適宜チェックテストを実施し、テクニックを確実にする							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージの効果・テクニックを習得する</li> <li>・社会に出て「サロンで働く」上で、必要なルール・マナー・守秘義務・清掃を習得する</li> <li>・社会に出て「サロンで働く」上で必要な時間管理能力を身につける</li> <li>・INFA国際ライセンス フェイシャルバスポート国内卒業試験合格</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	INFAテクニック							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	INFA国際ライセンス(ボディ)フルボディチェック	試験項目フルチェック						
第2週	INFA国際ライセンス(ボディ)フルボディチェック	試験項目フルチェック						
第3週	INFA国際ライセンス(ボディ)フルボディチェック	試験項目フルチェック						
第4週	INFA国際ライセンス(ボディ)フルボディチェック	試験項目フルチェック						
第5週	INFA国際ライセンス(ボディ)フルボディチェック	模擬試験実施 修正点、改善点の理解						
第6週	INFA国際ライセンスボディ試験	INFA国際ライセンスボディ試験 実施						
第7週	フェイシャルケアの流れを理解する	フェイシャルケアの流れ、目的、肌状態のチェック フェイシャルケアの事前準備を理解する						
第8週	クレンジング ポイントクレンジング ネイルケア・カラー	デコルテマッサージの手順を理解する						
第9週	クレンジング ベースクレンジング ネイルケア・カラー	デコルテマッサージの手順を理解する フェイシャルマッサージの手順を理解する						
第10週	デコルテマッサージ イメージメイク	フェイシャルマッサージの手順を理解する						
第11週	デコルテマッサージ イメージメイク	ベースクレンジング、ポイントクレンジング ふき取り デコルテマッサージ、フェイシャルマッサージ確認チェック						
第12週	フェイシャルマッサージ イメージメイク ヘアアレンジ	クレンジング、デコルテ、フェイシャルマッサージ 苦手克服						
第13週	エステティック機器 イメージメイク ヘアアレンジ	ベースクレンジング、ポイントクレンジング ふき取り デコルテマッサージ、フェイシャルマッサージ確認チェック						
第14週	エステティック機器 イメージメイク ヘアアレンジ	エステティック機器について理解する スチーマーの使用方法、イオン導入、ブラシクレンジング パック						
第15週	試験項目 実技チェック	試験項目の一連の流れを理解する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	エステ総合		単位数	6	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実技中心の授業、必要に応じて講義形式を取り入れる</li> <li>・ 必要に応じて視聴覚教材使用</li> <li>・ 適宜チェックテストを実施</li> </ul>							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ INFA国際ライセンス取得(フェイシャル)レベルの技術を身につけ、常に同じレベルの施術を提供する術を身に付ける</li> <li>・ 取り組みの中で忍耐力・思いやりの心・丁寧な立ち居振る舞いを身に付け社会生活で活用できる</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	INFA国際試験 ボディ 合格レベル							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週 ①・②	INFA国際試験対策-1	オールの通し 1 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第2週 ①・②	INFA国際試験対策-2	オールの通し 2 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第3週 ①・②	INFA国際試験対策-3	オールの通し 3 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第4週 ①・②	INFA国際試験対策-4	オールの通し 4 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第5週 ①・②	INFA国際試験対策-5	オールの通し 5 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第6週 ①・②	INFA国際試験対策-6	オールの通し 6 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第7週 ①・②	INFA国際試験対策-7	オールの通し 7 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第8週 ①・②	INFA国際試験対策-8	オールの通し 8 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第9週 ①・②	INFA国際ライセンス受験	INFA国際ライセンスフェイシャル受験						
第10週 ①・②								
第11週 ①・②	スチューデントサロン プランニング ①	スチューデントサロンのトリートメントメニューを計画する ボランティア現場研修のメニューを計画する						
第12週 ①・②	スチューデントサロン プランニング ②	スチューデントサロントリートメントメニューを正しく時間内で施術できるようになる ボランティア現場研修のメニューを正しく時間内で施術できるようになる						
第13週 ①・②	スチューデントサロン プランニング ③	スチューデントサロントリートメントメニューを正しく時間内で施術できるようになる ボランティア現場研修のメニューを正しく時間内で施術できるようになる						
第14週 ①・②	期末テスト内容確認-1	期末テスト課題を正しく時間内に施術できるようになる						
第15週 ①・②	期末テスト内容確認-2	期末テスト課題を正しく時間内に施術できるようになる						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員					実務経験紹介			

科目名	ヘアアレンジ応用		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学、講師デモンストレーション、相モデルを取り入れた、「聴く」「観る」「実際に行う」の3つのパターンで成り立つ知識とそれを使った技術を習得できるプログラム フォトコンテストにエントリーする作品作り行う							
授業の一般目標	ビューティスペシャリストとしての美容の知識、テクニックを実践しながら創造力と感性を高め、クリエイティブな作品を作る。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	テーマに基づいたヘアアレンジができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	ヘアアレンジ技術確認	オリエンテーション・復習						
第2回	ヘアアレンジ①	編み込み						
第3回	ヘアアレンジ②	ピン留め・ハーフアップスタイル						
第4回	ヘアアレンジ③	編み込み・まとめ髪						
第5回	ヘアアレンジ④	コテ巻き・巻き下ろし・ピンワーク						
第6回	年代別ヘアアレンジ	80年代ディスコ風ヘアメイク						
第7回	トレンドヘア①	トレンドヘアメイク						
第8回	トレンドヘア②	外国人風 巻き髪						
第9回	ヘアアレンジテスト	ヘアアレンジテスト						
第10回	コンテスト応募用作品作り	テーマ・コンセプト決め						
第11回	コンテスト応募用作品作り	イメージ収集、チェック、ヘアアレンジ実践						
第12回	コンテスト応募用作品作り	イメージ収集、チェック、ヘアアレンジ実践						
第13回	コンテスト応募用作品作り	イメージ収集、チェック、ヘアアレンジ実践						
第14回	撮影最終チェック	撮影最終チェック						
第15回	コンテストエントリー	コンテストエントリー						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品					◎		10	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	メイクアップ応用			単位数	2	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	選択			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技中心の授業 必要に応じて講義形式を取り入れる</li> <li>・必要に応じて視覚教材を使用</li> </ul>							
授業の一般目標	INFA国際試験フェイシャルのメイクアップの項目で70点以上を取得することができる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	都度使用するプリント等を配布							
授業の到達目標								
<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1、メイク理論を口頭で説明できる。 2、メイク理論を理解したうえでメイクアップを施術できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点								
<input checked="" type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	テーマに沿ってメイクを実践するために情報収集をすることができる、また、自ら自身の課題点を発見することができる。							
<input checked="" type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input checked="" type="checkbox"/> 技能・表現の観点	時間制限内で課題として出されたメイクアップ技術を相モデルに施すことができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1週	メイクアップ理論	INFAフェイシャルの試験項目パーティメイクの評価基準 パーティメイクとはメイクに必要な骨格、筋肉の知識 印象分析						
第2週	メイク技術チェック	フルメイク実践 実践したメイクのプレゼンテーション 課題点の発見						
第3週	ベースメイク①(トラブルを隠す)	ベースメイクの考え方 下地、コンシーラー、リキッドファンデーション、パウダーの使い方 トラブル(法令線、しみ、しわ、にきび、毛穴)を隠すベースメイクの実践						
第4週	ベースメイク②(立体感をつくる)	骨格を意識して立体感をつくる ローライト、ハイライト、シェーディング、光と影の作用						
第5週	アイブロウ①	骨格に合うアイブロウを理解する アイブロウの形によって与える印象を理解する 眉頭、中央、眉尻の毛流れを理解する						
第6週	アイブロウ②	相モデルにてベースメイク～アイブロウポイントメイクを実践 時間内(15分)で行えるように施術する						
第7週	ポイントメイク①(アイメイク)	二重、奥二重、一重に合ったアイメイクを理解する アイラインが与える印象を理解する ビューラーの使い方を理解する						
第8週	ポイントメイク②(アイメイク)	相モデルにてベースメイクアイブロウポイントメイク～アイメイクを実践 時間内(25分)で行えるように施術する						
第9週	アイメイク リップ①	ポイントメイク(リップ)を理解する 使用アイテム、リップメイクの形による与える印象を理解する						
第10週	アイメイク リップ②	相モデルにてベースメイクアイブロウポイントメイク～アイメイク～リップを実践 時間内(30分)で行えるように施術する						
第11週	各工程 復習 メイク技術チェック	相モデルにフルメイク(エレガント・パーティメイク)を実践 課題点の発見と改善						
第12週	エレガント(パーティ)メイク フルメイク実践①	モデルに似合うドレスを選別し、フルメイクを実践する 課題点の発見と改善						
第13週	エレガント(パーティ)メイク フルメイク実践②	モデルに似合うドレスを選別し、フルメイクを実践する 課題点の発見と改善						
第14週	エレガント(パーティ)メイク フルメイク実践③	モデルに似合うドレスを選別し、フルメイクを実践する 課題点の発見と改善						
第15週	期末試験の実施	期末試験の実施						
成績評価方法 実技試験の実施 相モデルにてエレガントメイク(パーティメイク)を施す 左右対称、ベースメイクの仕上がり、立体感が評価項目								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎				◎		50	秀(S):100点～90点
小テスト	◎				◎		30	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○	○			20	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○	○			欠格条件	
担当教員	安田、田澤			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>			

科目名	パーツケア実習 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技中心の授業 必要に応じて講義形式を取り入れる</li> <li>・必要に応じて視覚教材を使用</li> </ul>							
授業の一般目標	・WAX脱毛、ネイルケア ネイルカラーリング メイク等 パーツ部分を美しくするための技術を身につける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	パーツケアに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	口頭試問対策	過去の口頭試問問題の解説						
第2回	バストパック	乳腺解剖学やODT、パック剤の成分を理解し、正しくバストケアを行う事が出来る						
第3回	WAX、ネイルカラー	毛の構造を理解し、正しく安全にWAX脱毛を行う事ができる キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)						
第4回	カルテ指導	口頭試問対策						
第5回	カルテ指導	口頭試問対策						
第6回	WAX脱毛	毛の構造を理解し、正しく安全にWAX脱毛を行う事ができる						
第7回	バストパック	乳腺解剖学やODT、パック剤の成分を理解し、正しくバストケアを行う事が出来る						
第8回	ネイルケア	爪の構造を理解して、正しく消毒・ファイル・キューティクルクリーンができるようになる(相モデルにて)						
第9回	ネイルカラー	キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)						
第10回	口頭試問対策	過去の口頭試問問題の解説						
第11回	口頭試問対策	過去の口頭試問問題の解説						
第12回	バストパック	乳腺解剖学やODT、パック剤の成分を理解し、正しくバストケアを行う事が出来る キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)						
第13回	WAX	毛の構造を理解し、正しく安全にWAX脱毛を行う事ができる キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)						
第14回	ネイルカラー	キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)						
第15回	期末試験	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 期末試験で評価								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木 真衣			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>			

科目名	パーツケア実習Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技中心の授業 必要に応じて講義形式を取り入れる</li> <li>・必要に応じて視覚教材を使用</li> </ul>							
授業の一般目標	・WAX脱毛、ネイルケア ネイルカラーリング メイク等 パーツ部分を美しくするための技術を身につける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	パーツケアに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	WAX、ペディキュア	毛の構造を理解し、正しく安全にWAX脱毛を行う事ができる キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)				仕上がりチェック		
第2回	バストパック ペディキュア	乳腺解剖学やODT、パック剤の成分を理解し、正しくバストケアを行う事が出来る キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)				仕上がりチェック		
第3回	INFA国際試験 会場設営	INFA国際試験の会場設営や備品の説明を受験者に説明する						
第4回	INFA国際試験の振り返り	INFA国際試験(ボディ)の受験を通して気付いた事、成長した点、今後の目標をディスカッションする				感想文提出		
第5回	ネイルケア	爪の構造を理解して、正しく消毒・ファイル・キューティクルクリーンができるようになる(相モデルにて)				仕上がりチェック		
第6回	ネイルカラー	キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)				仕上がりチェック		
第7回	メイクアップ基礎 ベースメイク アイブロウ	骨格や顔の立体感について学びローライトハイライトを入れる事が出来るようになる 骨格にあったアイブロウを描けるようになる				パーティメイクの切り抜き提出日		
第8回	メイクアップ基礎 アイメイク リップメイク	モデルの目の形(一重、二重、奥二重)に合わせたアイメイクができるようになる モデルのリップラインに合わせた魅力的なリップメイクをする事が出来る						
第9回	パーティメイク実践 30分にて	相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し、パーティにふさわしいメイクを30分で行う事が出来るようになる フィードバックをもらい改善点を見つける。						
第10回	パーティメイク実践 20分にて	相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し、パーティにふさわしいメイクを20分で行う事が出来るようになる フィードバックをもらい改善点を見つける。				仕上がりチェック		
第11回	パーティ用ヘアアレンジ	ヘアアレンジ基礎で学んだ事を活かし、モデルの骨格とドレスに合うパーティヘアを作ることができるようになる				パーティ用ヘアの切り抜き提出日		
第12回	ネイルカラー～パーティメイク～パーティヘア	ネイルカラー、メイクアップ、ヘアアレンジのトータルコーディネートを行い、全体バランスを確認し改善点を見つける。				仕上がりチェック		
第13回	ネイルカラー～パーティメイク～パーティヘア	ネイルカラー、メイクアップ、ヘアアレンジのトータルコーディネートを行い、全体バランスを確認し改善点を見つける。				仕上がりチェック		
第14回	ネイルカラー～パーティメイク～パーティヘア	ネイルカラー10分 メイクアップ 20分 ヘアアレンジ5分の時間内で実施出来るようになる				仕上がりチェック		
第15回	ネイルカラー～パーティメイク～パーティヘア	ネイルカラー10分 メイクアップ 20分 ヘアアレンジ5分の時間内で実施出来るようになる				仕上がりチェック		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点～70点
授業態度			○				10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				



科目名	イメージメイク応用		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	実技中心の授業(講師のデモスト、学生が実技を行う) メイクカルテを活用し、理解力を深める 実技チェックテストを行い、テクニックの習得状況を確認し、実技を確実に習得する。							
授業の一般目標	フォトコンテストのテーマに合わせたメイクを創造することができる イメージメイクで学んだ知識を活かし、技術を行う事でメイク表現の違いを知る。 メイクの楽しさを他者に伝えることのできる応用テクニック、表現方法を学ぶ。 様々なヘア・メイク表現を習得し、現場で活かせる応用技法を身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明することができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	コンテストのテーマに合わせてメイクを創造し、表現することができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	顔分析 メイク ①	横 内心 外心 を意識し顔分析を行い メイクが出来るようになる						
第2週	顔分析 メイク ②	縦 内心 外心 を意識し顔分析を行い メイクが出来るようになる						
第3週	顔分析 メイク ③	上方 下方 を意識し顔分析を行い メイクが出来るようになる						
第4週	顔分析 メイク まとめ	顔分析によるメイクの実践						
第5週	モードメイク アイカラー ①	アイカラーの中抜きテクニックを実践する事が出来るようになる						
第6週	モードメイク アイカラー ②	アイカラーの目頭抜きテクニックを実践する事が出来るようになる						
第7週	モードメイク アイカラー ③	アイカラーのシャープテクニックを実践する事が出来るようになる						
第8週	モードメイク アイカラー ④	アイカラーのラウンドテクニックを実践する事が出来るようになる						
第9週	モードメイク アイライン ①	アイラインのスリムラインとオープンアイのテクニックを実践することが出来るようになる						
第10週	モードメイク アイライン ②	アイラインのキャッツアイとアーモンドアイのテクニックを実践することが出来るようになる						
第11週	コンテスト応募用作品作り	イメージ収集、チェック、メイク実践						
第12週	コンテスト応募用作品作り	イメージ収集、チェック、メイク実践						
第13週	コンテスト応募用作品作り	イメージ収集、チェック、メイク実践						
第14週	コンテスト応募用作品作り	最終確認						
第15週	撮影(コンテスト応募用)	コンテストエントリー						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを数回実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
中間テスト	◎	○	◎		◎		30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○				50	C(1):60点以上
発表・作品							20	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	サービス接遇特論		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・ロールプレイングを取り入れた授業 正しい敬語美容業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める。							
授業の一般目標	サービス接遇検定2級・準1級取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	サービス接遇検定2級公式テキスト サービス接遇検定準1級テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	オリエンテーション	授業の進め方の説明と検定要項の確認						
第2回	接客ロールプレイング・準1級試験対策	接客者としての基本言動(言葉使い、所作)ができる						
第3回	接客ロールプレイング・準1級試験対策	接客者としての基本言動(言葉使い、所作)ができる						
第4回	接客ロールプレイング・準1級試験対策	接客者としての基本対応ができる						
第5回	接客ロールプレイング・準1級試験対策	接客者としての基本対応ができる						
第6回	接客ロールプレイング・準1級試験対策	接客者としての基本対応ができる						
第7回	接客ロールプレイング・準1級試験対策	接客者としての基本対応ができる						
第8回	接客ロールプレイング・準1級試験対策	模擬面接実施						
第9回	接客ロールプレイング・準1級試験対策	模擬面接実施						
第10回	2級対策授業	2級試験範囲復習						
第11回	2級対策授業	2級試験範囲復習						
第12回	2級対策・模擬試験	検定試験直前対策、2級合格のポイントを押さえる						
第13回	模擬試験	検定試験直前対策、2級合格のポイントを押さえる						
第14回	期末試験対策	2級試験範囲復習						
第15回	期末試験実施	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○	◎			20	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	基本IT技術		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	① WindowsとWord2007の基本操作について ② Wordの機能についての理解と利用 ③ Excelの基本的な操作方法や表の作成・編集 ④ 関数についての理解とグラフの作成 ⑤ 文書校正機能やワークシートの操作について							
授業の一般目標	Windows、Word・Excelの基礎を学び、文書や表などを作成・編集できるようにする。 機能について理解をし、活用できるようにする。 必要な式の作成、考え方を学び、適切な式を入力できるようにする。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	授業のオリエンテーション	授業に関する説明と注意事項、アンケート 課題提出用メールアドレスの取得とWindowsの基礎について						
第2回	授業の準備とWordの基礎	課題提出用メールアドレスの取得(欠席者と未取得者) Wordの画面の名称と機能						
第3回	Wordの基本	漢字の変換・文節、読みのわからない漢字の挿入方法 ビジネス文書の構成について						
第4回	ページと書式の設定	ページ設定と書式設定						
第5回	行・段落の設定	段落番号・行間・インデントなどの設定						
第6回	表とヘッダー・フッター	表の挿入・編集とヘッダーフッターの設定						
第7回	オブジェクトの挿入・編集	ワードアートや図形、 図やテキストボックスに対する操作						
第8回	Word総合問題	P検3級Word実技問題に順守した問題						
第9回	Excelの基礎	画面の名称や働き、演算子やオートフィル機能について						
第10回	Excelの基本	コピー・移動、関数について(合計を求める)						
第11回	オートSUMボタンを利用した関数	平均、最大・最小値の求め方と表の書式設定。 オートSUMボタンでの設定方法						
第12回	絶対参照と関数の利用	相対参照と絶対参照について 関数の挿入ボタンを利用した関数の入力(セルの個数)						
第13回	グラフの作成と編集	グラフの挿入とグラフの書式設定						
第14回	ページ設定とデータベース機能	ページ設定と表示モードの変更、文書校正について データの並べ替え						
第15回	ワークシートの操作と総合問題	ワークシートに関する設定とP検3級に遵守した Excelの総合問題						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	キャリアデザイン	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	半期			
区分	選択	開設時期	後期	教員実務経験対象	-			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	就職活動の為に、キャリアガイダンス 1.自己分析 2.プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につける 3.仕事を知る							
授業の一般目標	1.自分を知る事で「やりたい事」「出来る事」「将来像」を明確にしていく。 2.希望する企業にしっかり想いが伝えられるよう、プレゼンテーション能力を身につける。 3.社会人として必要なコミュニケーション能力を身につける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YICオリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	自己PRを簡潔に伝えることができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容			備考			
第1回	オリエンテーション	就職活動について・就活の流れ・シラバス・NAV I ノートの説明 自己紹介・就職先希望調査・リクルートスーツ着用時の注意点						
第2回	職業適性テスト	就職ガイダンス・職業適性テスト						
第3回	自己分析Ⅰ	自己分析「過去の振り返り・ネガポジマップ」他己分析「他人から見た自分を知る」						
第4回	職業適性テスト②	職業適性テスト結果返却・解説						
第5回	自己分析Ⅱ・説明会での所作	説明会参加時のマナーについて 自己PR作成(自己分析+他己分析+客観的データより作成)						
第6回	自己分析Ⅲ	自己PR完成後、発表						
第7回	企業研究	グループで1社企業研究・発表資料作成						
第8回	企業研究(発表)	グループごとに企業研究結果の発表						
第9回	生活設計講話	生活設計・家計管理について						
第10回	合同企業説明会所作・マナー	合同企業説明会事前練習、所作、マナーについて						
第11回	合同企業説明会	YIC京都合同企業説明会(京都テルサ)						
第12回	就職情報サイト登録	マイナビ活用術						
第13回	履歴書の書き方 自己PR エントリーシート	履歴書・エントリーシートの書き方・注意点						
第14回	模擬面接	グループディスカッション・グループ面接						
第15回	模擬面接	期末テスト						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		60	秀(S):100点~90点
小テスト							評価なし	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				20	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	プレゼンテーション		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	「仕事の実践」の知識を活かしながら、プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、プレゼンテーションの基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表示ができるようになる。							
授業の一般目標	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナルテキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	自ら考えたサロンのプレゼンテーションができるようになる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	オリエンテーション	授業のルール・プレゼンテーションとは						
第2回	プレゼンテーションの目的	プレゼンテーションの種類・目的の明確化・情報収集の重要性						
第3回	プレゼンテーション準備と流れ1	聞き手の分析や主張の明確化、プラン作成やツールについて						
第4回	聴衆に好感を持たれる話し方の基本	聴衆に好感を持たれる話し方の基本を学ぶ				小テスト		
第5回	ストーリーの構成	序論・本論・結論について						
第6回	説得力のある伝え方	SDS法・PREP法・DESC法について						
第7回	自己紹介文作成	SDS法・PREP法・DESC法を用いた自己PR文の作成・発表						
第8回	感動を創造する伝え方	感情を込めた伝え方・感動エピソード発表				小テスト		
第9回	プレゼンテーション	テーマに沿ってプレゼンテーション発表 聞き手はチェックシートを用い、発表の仕方、内容をチェックする						
第10回	事業計画書の作成①	サロンコンセプト・ターゲット層・メニューの作成						
第11回	事業計画書の作成②	チラシ・プレゼン資料作成						
第12回	プレゼンテーション準備	最終準備・発表練習						
第13回	事業計画書に沿ったプレゼンテーション(テスト)	プレゼンテーション発表 聞き手はチェックシートを用い、発表の仕方、内容をチェックする						
第14回	事業計画書に沿ったプレゼンテーション(テスト)	プレゼンテーション発表 聞き手はチェックシートを用い、発表の仕方、内容をチェックする						
第15回	期末試験	筆記テスト						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、小テスト10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品					◎		評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	硬筆書写	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	半期			
区分	選択	開設時期	前期	教員実務経験対象	-			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ビューティ業界に必要な美しい手書き文字を身に付け、お客様への手紙、商談のメモ等、字で信頼して頂くために、硬筆書写の基礎的な技術及び知識をもって書くことが出来るようになる。また就職活動時に正しい字で履歴書が書けるようになる。							
授業の一般目標	履歴書、お客様への手紙やお礼状、案内などを美しくバランスよく描くことができる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	硬筆書写技能検定3級合格のポイント・ペン字ハンドブック・ゲルインクボールペン黒0.5・無地レポートB5サイズ							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	次をりっぱに書くということに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で書写について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	縦書き・横書き・履歴書をバランスよく描くことができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	オリエンテーション・文字の基礎・基本 ①	美しい文字を書く基本を学ぶ。 用具、テキスト、ドリルの活用方法、学習計画が理解できる						
第2回	文字の基礎・基本 ②	楷書について①						
第3回	文字の基礎・基本 ③	楷書について②						
第4回	文字の基礎・基本 ④	平仮名・片仮名について①						
第5回	文字の基礎・基本 ⑤	平仮名・片仮名について②						
第6回	文字の基礎・基本 ⑥	横書きについて						
第7回	文字の基礎・基本 ⑦	行書について①						
第8回	文字の基礎・基本 ⑧	行書について②						
第9回	実践実習①	縦書きについて①						
第10回	実践実習②	縦書きについて②						
第11回	添え状・履歴書・お礼状の作成 ①	就職活動・インターンシップに向けた実践演習						
第12回	添え状・履歴書・お礼状の作成 ②	就職活動・インターンシップに向けた実践演習						
第13回	添え状・履歴書・お礼状の作成 ③	就職活動・インターンシップに向けた実践演習						
第14回	総復習	授業で学んだことに対する総復習						
第15回	前期期末試験	期末テスト						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員				実務経験紹介				

科目名	論理的思考力基礎	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	半期			
区分	選択	開設時期	後期	教員実務経験対象	-			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	日常生活に関する題材を取り上げ、現状認識、問題発見をつかさどる把握力、定量分析、定性分析に発展させる分析力、意思決定、情報を研ぎ澄ませる選択力、シミュレーション能力を磨くための予測力、プレゼンテーション能力を発揮できる表現力の基礎を学ぶ。							
授業の一般目標	身近な問題を解くことを通して、読解力・把握力・分析力・選択力・予測力・表現力を養う。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容			備考			
第1回	オリエンテーション・数学基礎学力テスト	授業の進め方・評価の方法について 数学基礎力試験(数学検定試験)						
第2回	速さの基礎	速さの定義・秒速・分速・時速・速さと距離時間の関係の復習。速さを求める。						
第3回	旅人算・流水算	動くものが2つあるとき、2つのものの隔たりの推移に関する問題を解く。						
第4回	割合の基礎	単位の換算・百分率と歩合・濃度の計算(重量パーセントからモル濃度)						
第5回	損益算	売買による損益に関する計算。原価(仕入れ値)・定価・売価(売り値)・利益の間の関係、特に利益率・値引率の割合の意味を理解し問題を解く。						
第6回	仕事算	単位日数や単位時間にてできる仕事の量や仕上げるのにかかる日数や時間を求める。						
第7回	計算の基礎・虫食い算	四則計算・四則混合計算・Xを使う式・連立方程式を解く						
第8回	順列・確立	順列・確立の基本的な考え方と保険・銀行の融資(ゆうし)・株式市場の分散投資について学ぶ						
第9回	集合	集合と要素・部分集合・空集合・関集合・和集合・全体集合・補集合について学ぶ。						
第10回	推理	リーグ戦の勝敗・対応関係、うそつき問題を解く						
第11回	面積・体積	平行四辺形の面積・三角形の面積・台形の面積・ひし形の面積・円の面積・柱体の体積・錐体の体積を求める						
第12回	展開図	直方体・立方体・その他の図形の展開図から、体積・表面積を求める						
第13回	把握力と分析力	業界シェアの動向・所得税を求める						
第14回	選択力と予測力	最適な通勤ルートはどれか・来月の売上予想はいくらか求める。						
第15回	表現力	売上高を棒グラフで表す・データ分布のヒストグラムは						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	ビジネス英語		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	サロンでの対応について色々な場面で会話を学ぶ。授業は簡単な会話を中心としビューティ分野に必要な表現も併せて学ぶ。							
授業の一般目標	英語でのコミュニケーションができるようになるのが目標。中学1、2年で学ぶ内容をカバーしながら、英語で基本的なやり取りができる力を身につける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	英語で受付からご案内までできる 英語で自己紹介ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	事前テストの実施	英単語、レベルチェック						
第2回	Nice to meet you	自己紹介ができる。 初対面の挨拶ができる。						
第3回	How' re you this morning?	相手の調子を尋ねたり、自分の調子を言うことができる。あいづちを打つことができる。						
第4回	What do you do in your free time?	余暇の過ごし方について尋ねたり、答えたりすることができる。種類を尋ねたり、答えたりすることができる。						
第5回	Where' re you from?	天気的话题をきっかけに見知らぬ人と会話を始めることができる。出身地を尋ねたり、答えたりすることができる。						
第6回	How much is it?	値段を尋ねたり、答えたりすることができる。 数字を正しく言えることができる。						
第7回	May I have your name, please?	受付で約束があることを伝えることができる。 位置を表す表現を使うことができる。						
第8回	Where' s the nearest bookstore?	道を尋ねたり、答えたりすることができる。						
第9回	How was your weekend?	趣味について尋ねたり、答えたりすることができる。						
第10回	Nice talking with you.	自然に会話を終わらせることができる。 色々な別れの挨拶をすることができる。 別れの挨拶に返答することができる。						
第11回	Hou about some paperbacks?	第三者の誕生日や好きなことを尋ねたり、答えたりすることができる。 提案する表現が使える。 月や日付を正しく言えることができる。						
第12回	Do you have a fitness center?	Haveを使って設備やサービスについて質問できる。 序数を使って何階かを伝えることができる。 Inやnext toをつかって場所を伝えることができる。						
第13回	業務内で想定される会話	ビューティ業界に就職し、海外のお客様をお迎えした際想定される会話の実践						
第14回	色々な場面の会話	自分が伝えたい事を英語で伝えられるようになる						
第15回	振り返りテストとE C P Tテストの実施	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				



科目名	ビジネスマネジメント		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	管理職(マネジャー)は、企業と社員の結節点として、“経営ビジョンの浸透”や“事業戦略の策定・遂行”、“チームのモチベーションの向上”、“人材育成”などの多様な重要な役割を担っています。まさに企業の浮沈の鍵を握る要の存在です。この授業ではマネジメント知識を学び社会人基礎力を高めます。							
授業の一般目標	ビジネスマネジメント検定取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	管理職として直面する事項に関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でマネジメントについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	マネージャーの役割と心構え	マネージャーが直面するビジネス環境						
第2回	マネージャーの役割と心構え	マネージャーに求められるミッションと5つの役割						
第3回	マネージャーの役割と心構え	マネージャーの資質						
第4回	マネージャーの役割と心構え	マネージャーの心得						
第5回	人と組織のマネジメント	マネージャー自身のマネジメント						
第6回	人と組織のマネジメント	コミュニケーションの重要性						
第7回	人と組織のマネジメント	部下のマネジメント 上司・外部とのコミュニケーション						
第8回	人と組織のマネジメント	人財育成と人事考課 チームのマネジメントと企業組織論						
第9回	業務のマネジメント	経営計画 事業計画の策定						
第10回	業務のマネジメント	マネージャーに求められる業務のマネジメント						
第11回	業務のマネジメント	成果の検証と問題発見及びその解決 経営にかかわる基礎知識						
第12回	リスクのマネジメント	リスクマネジメントの考え方とその実践						
第13回	リスクのマネジメント	職場・業務にかかわるリスクマネジメント						
第14回	リスクのマネジメント	組織にかかわるリスクマネジメント 事故災害時にかかわるリスクマネジメント						
第15回	期末試験の実施	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○						秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎					優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎				良(B):79点~70点
授業態度			○					可(D):69点~60点
発表・作品								不可(E):59点以下
演習								
出席			○					
担当教員				実務経験紹介				

科目名	インターンシップ I		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。							
授業の一般目標	1. 自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を育成する 2. 実社会に触れる事によって学習意欲を向上させる 3. 人間性を高め、基本的な生活習慣を身に付ける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ビューティ業務全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	結婚式や披露宴において必要な準備や手順がわかる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でビューティ関連企業について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。						
第2回	実務研修の依頼	就職を希望する企業・サロンの調査法、インターンシップの依頼(電話・依頼文作成)、企業等とのマッチング、日程調整						
第3回	挨拶状・レポート作成	受け入れ企業の決定に基き必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なものにする						
第4回	実務研修	受入れ事業所で就業体験(実習日誌)						
第5回								
第6回								
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回	インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。						
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 研修内容に関するレポート提出、準備姿勢、研修に取り組む姿勢に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀(S):100点~90点
小テスト								優(A):89点~80点
宿題授業外レポート	◎	◎	○	◎			30	良(B):79点~70点
授業態度			○	○			15	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習	◎	○	◎				55	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介					

科目名	インターンシップⅡ		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。							
授業の一般目標	1. 自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を育成する 2. 実社会に触れる事によって学習意欲を向上させる 3. 人間性を高め、基本的な生活習慣を身に付ける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ビューティ業務全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	結婚式や披露宴において必要な準備や手順がわかる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でビューティ関連企業について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。						
第2回	実務研修の依頼	就職を希望する企業・サロンの調査法。インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、企業等とのマッチング、日程調整						
第3回	挨拶状・レポート作成	受け入れ企業の決定に基き必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なものにする						
第4回	実務研修	受入れ事業所で就業体験（実習日誌）						
第5回								
第6回								
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回	インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。						
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 研修内容に関するレポート提出、準備姿勢、研修に取り組み姿勢に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀(S):100点~90点
小テスト								優(A):89点~80点
宿題授業外レポート	◎	◎	○	◎			30	良(B):79点~70点
授業態度			○	○			15	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習	◎	○	◎				55	
出席			○					欠格条件
担当教員				実務経験紹介				

科目名	サロン運営 I		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・ 現場実習・スチューデントサロンを計画し実施する							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際の現場で臨機応変に行動ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術内容を考えて施術ができる</li> <li>・ サロン運営の企画・運営を組織の一員として積極的に参加し、目標とした課題を達成する事ができる</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高める事ができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考える事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	オリエンテーション	評価方法・スチューデントサロンを行う目的を理解し、他の授業との関連性を理解する サロンを運営する上での準備項目を共有認識する						
第2週	サロン運営の概要決定	サロン運営をする上でのタイムスケジュールを決定する 準備物の確認をする 役割分担を決定する メニューを決定する 企画書を作成する						
第3週	サロン運営の広告方法とは	DM発送準備 ペーパーアイテム作成 ポスティング・施術見本作成						
第4週	サロン運営準備物の作成	サロンの一連の流れを考え、決定する 接客対応のシミュレーションを実施						
第5週	技術練習	サロンメニューの技術練習を行う						
第6週	技術練習	サロンメニューの技術練習を行う・技術チェック						
第7週	技術練習	サロンメニューの技術練習を行う・技術チェック						
第8週	プレオープン	プレオープン・オープンに向けての修整・改善を行う						
第9週	サロン営業	サロン営業・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第10週	サロン営業	サロン営業・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第11週	サロン営業	サロン営業・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第12週	サロン営業	サロン営業・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第13週	サロン営業	サロン営業・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第14週	サロン営業	サロン営業・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第15週	入客・技術チェック	接客～施術まで						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点以上 (1)技術チェック (2)日報・レポート提出 (3)サロン運営貢献度 (4)授業態度 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%以下のものには単位を与えない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
技術チェック	◎	◎	◎		◎		40	秀(S): 100点～90点
日報・レポート提出		◎	◎				10	優(A): 89点～80点
サロン運営貢献度				◎	◎	◎	40	良(B): 79点～70点
授業態度				◎			10	可(D): 69点～60点
出席							欠格条件	不可(E): 59点以下
担当教員				実務経験紹介				

科目名	サロン運営Ⅱ		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・ 現場実習・スチューデントサロンを計画し実施する							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際の現場で臨機応変に行動ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術内容を考えて施術ができる</li> <li>・ サロン運営の企画・運営を組織の一員として積極的に参加し、目標とした課題を達成する事ができる</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	オリエンテーション	スチューデントサロンを行う目的を理解し、他の授業との関連性を理解する サロンを運営する上での準備項目を共有認識する						
第2週	サロン運営の概要決定	サロン運営をする上でのタイムスケジュールを決定する 準備物の確認をする 役割分担を決定する メニューを決定する 企画書を作成する						
第3週	サロン運営の広告方法とは	広告方法を考える DMの内容、ブログ、HPの内容を考える						
第4週	サロン運営準備物の作成	準備物の作成を行う DMの作成を行う サロンの一連の流れを考え、決定する						
第5週	接客応対について考える	接客応対のシュミレーションを実施				DM発送 HP、ブログUP		
第6週	技術練習	サロンメニューの技術練習を行う						
第7週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第8週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第9週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第10週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第11週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第12週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第13週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第14週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第15週	振り返り実施	サロン運営についての振り返り実施、改善点を話し合う						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介							

科目名	サロン運営Ⅲ		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・ 現場実習・スチューデントサロンを計画し実施する							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際の現場で臨機応変に行動ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術内容を考えて施術ができる</li> <li>・ サロン運営の企画・運営を組織の一員として積極的に参加し、目標とした課題を達成することができる</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接客に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接客について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	オリエンテーション	スチューデントサロンを行う目的を理解し、他の授業との関連性を理解する サロンを運営する上での準備項目を共有認識する						
第2週	サロン運営の概要決定	サロン運営をする上でのタイムスケジュールを決定する 準備物の確認をする 役割分担を決定する メニューを決定する 企画書を作成する						
第3週	サロン運営の広告方法とは	広告方法を考える DMの内容、ブログ、HPの内容を考える 準備物の作成を行う						
第4週	サロン運営準備物の作成	DMの作成を行う サロンの一連の流れを考え 決定する						
第5週	接客対応について考える	接客対応のシミュレーションを実施				DM発送 HP、ブログUP		
第6週	技術練習	サロンメニューの技術練習を行う						
第7週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第8週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第9週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第10週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第11週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第12週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第13週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第14週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第15週	振り返り実施	サロン運営についての振り返り実施、改善点を話し合う						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品								評価なし 不可(E):59点以下
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	実務経験紹介							

科目名	イベントプロデュース		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	具体的なイベント活動の企画・運営を通して企画力・実行力・協調性など社会人基礎力をつける。 イベントを企画する段階から時間軸のプロセスを経て、「最終的な目的達成」のために最高のパフォーマンスを発揮できるよう、イベントのノウハウや、プランニング方法等を実際のイベント運営を通して、具体的に学び、これからのイベントの方向性を探っていく。							
授業の一般目標	イベントの企画から実際にイベント運営を体験し、制作ノウハウを身につける。 自分達の考えたイベントが来場者にどう評価されたかを調査・分析し、グループワークで各自が役割に対する責務を果たし、チーム全体の力を発揮することができる。							
受講条件	特になし							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	イベント活動の意義や運営の仕方を理解し、説明ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	イベントの企画や目的を考え、工夫ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ほりかわ祭実行に向け、意欲を高め団結力・協調性を高める							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
イベントの企画から運営を学び、実践し協調性や社会人基礎力を身に付ける事ができる								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	授業ガイダンス	2020年度のイベントについて						
第2回	イベントとは?	イベントの意義について						
第3回	イベントの目的	イベントには、必ず実施する側に明確な「目的」があって、その手段として行える						
第4回	プランニングと運営について	プランニング(計画生)の重要性と運営について覚える						
第5回	イベント企画会議(1)	実際の行事の企画会議を実施する。(ほりかわ祭)						
第6回	イベント運営のグループワーク(1)	イベント運営とグループワーク(ほりかわ祭)						
第7回	具体的なイベント運営のシミュレーション(1)	運営シミュレーション(ほりかわ祭)						
第8回	イベント運営の実際(1)	ほりかわ祭について(1)						
第9回	イベントプロデュースの分析と展望(1)	ほりかわ祭について(2)						
第10回	イベント企画会議(2)	実際の行事の企画会議を実施する。(就職egg)						
第11回	イベント運営のグループワーク(2)	イベント運営とグループワーク(就職egg)						
第12回	具体的なイベント運営のシミュレーション(2)	運営シミュレーション(就職egg)を行う						
第13回	イベント運営の実際(2)	学生ショー準備(1)						
第14回	イベントプロデュースの分析と展望(2)	学生ショー準備(2)						
第15回	学生ショー実施	学生ショー実施						
成績評価方法								
単位認定 60点以上 各イベントの参加状況・運営・実施状況にて総合判断								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							-	秀(S):100点~90点
小テスト							-	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							-	良(B):79点~70点
授業態度	○		○	◎			30	可(D):69点~60点
発表・作品	○	◎	○		◎		40	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			◎	◎			30	
担当教員	担任			実務経験紹介				

科目名	企業研究	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	半期			
区分	選択	開設時期	後期	教員実務経験対象	-			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ビューティー業界ではどのような仕事があるのか、関連業種などについて調べる。 ビューティー業界を分けて様々な角度から検討し、理解を深める。							
授業の一般目標	ビューティー業界を調べる事によって業界内の様々な職種を知る。また、そこで求められる人物像、知識などを各自が明確にイメージすることによって学習意欲を高め、就職活動に活かす。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	就活ナビノート							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. プライダル業界とは何かについて説明できる。 2. プライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げたプライダル関連企業について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	プライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でプライダル業界について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容			備考			
第1回	ガイダンス	美容業界の関連企業はどのようなものがあるか理解する						
第2回	業界企業の特徴①	上場、未上場、親会社が他業種などプライダル企業の現在を知る						
第3回	企業の特徴②	グループワークでビューティ企業を調べる						
第4回	業界調査 発表	前回調べた企業を発表する						
第5回	企業研究①	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第6回	企業研究②	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第7回	企業研究③	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第8回	企業研究④	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第9回	企業研究⑤	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第10回	企業研究⑥	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第11回	合同企業説明会	Y I C 京都合同企業説明会(京都テルサ)						
第12回	就職情報サイト登録	就職情報サイトエントリー企業の研究						
第13回	履歴書の書き方 自己PR エントリーシート	履歴書・エントリーシートの書き方・注意点						
第14回	模擬面接	グループディスカッション・グループ面接						
第15回	模擬面接	期末テスト						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点(レポート・小テスト)70%、授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート	◎	◎	○	○			40	B(2):70点以上
授業態度			○	○			20	C(1):60点以上
発表・作品		○	○				10	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				



科目名	ボランティア活動		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を講義する。ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を学習した後に、学生の主体的な計画の下にボランティア活動を体験する。							
授業の一般目標	ボランティアの理念を説明できる。ボランティア活動の基本原則を説明できる。実際のボランティア活動を説明できる。ボランティア活動参加の意義を説明できる。ボランティア活動に参加する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	ボランティアの理念	(無償性、自主性、公益性)						
第2回	ボランティア活動の基本原則	自分からすすんで行動する—とともに支え合い—学び合う「見返りを求めないよりよい社会をつくるを学ぶ						
第3回	実際のボランティア活動	実際のボランティア活動について話し合う						
第4回	ボランティア参加の意義	ボランティア活動は、他人同士がいるいるな場でふれあい、つながりを持ち、お互いに学びあって生きる喜びを確かめ合う機会を与えるものであることを確認する						
第5回	自分にあったボランティア活動は?	自分にあったボランティア活動について考察する。						
第6回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第7回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第8回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第9回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第10回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第11回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第12回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第13回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第14回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第15回	振り返り	レポート作成						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					20	S(4):90点以上
小テスト							評価なし	A(3):80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	B(2):70点以上
授業態度			○	◎			30	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習					◎		50	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	ボランティア活動		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を講義する。ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を学習した後に、学生の主体的な計画の下にボランティア活動を体験する。							
授業の一般目標	ボランティアの理念を説明できる。ボランティア活動の基本原則を説明できる。実際のボランティア活動を説明できる。ボランティア活動参加の意義を説明できる。ボランティア活動に参加する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	ボランティアの理念	(無償性、自主性、公益性)						
第2回	ボランティア活動の基本原則	自分からすすんで行動する—とともに支え合い—学び合う「見返りを求めないよりよい社会をつくるを学ぶ						
第3回	実際のボランティア活動	実際のボランティア活動について話し合う						
第4回	ボランティア参加の意義	ボランティア活動は、他人同士がいるいるな場でふれあい、つながりを持ち、お互いに学びあって生きる喜びを確かめ合う機会を与えるものであることを確認する						
第5回	自分にあったボランティア活動は?	自分にあったボランティア活動について考察する。						
第6回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第7回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第8回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第9回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第10回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第11回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第12回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第13回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第14回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第15回	振り返り	レポート作成						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					20	S(4):90点以上
小テスト							評価なし	A(3):80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	B(2):70点以上
授業態度			○	◎			30	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習					◎		50	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				

科目名	ソーシャルメディア活用概論		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	SNSの特長を理解してSNS運用の課題を明確にする							
授業の一般目標	ソーシャル・メディアの必要性やSNSの活用ポイントを理解し、マーケティング、広報活動ができるようになる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	SNSに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でSNSについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	WEBページが創造できる							
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	情報リテラシー①	ガイダンス 情報リテラシーとは インターネットの基礎知識						
第2回	Web構築概論①	Webページの概要						
第3回	Webページ製作の基本①	Webページの構成要素						
第4回	Webページ製作の基本②	HTMLとCSSの役割						
第5回	Webページ製作の基本③	HTMLの基礎 タグの種類 要素の構造						
第6回	Webページ製作の基本④	CSSの基礎 プロパティの種類 セレクターの種類						
第7回	Webページ製作の基本⑤	画像の配置 画像のサイズ変更 画像のトリミング						
第8回	Webページ製作の基本⑥	リンクの作成 内部リンクと外部リンク リンクの属性						
第9回	Webページ製作の基本⑦	表の作成						
第10回	Webページ製作の基本⑧	余白設定の概念						
第11回	Webページ製作の基本⑨	検索エンジン・SEO対策						
第12回	期末課題作成	Webページ作成実習						
第13回	期末課題作成	Webページ作成実習						
第14回	期末課題作成	Webページ作成実習						
第15回	期末課題作成発表	Webページ作成実習						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 単元ごとに授業態度・小テスト・レポート・課題・作品提出により評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	S(4):90点以上
小テスト	○	○	○	○	◎		40	A(3):80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	B(2):70点以上
授業態度	○	○	○	○			10	C(1):60点以上
発表・作品	○	○	○	○	◎		50	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席						○	欠格条件	
担当教員				実務経験紹介				